

## 平成25年度商品テストの概要

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
1	フッ素樹脂、シリコン樹脂等を含む衣類用スプレー製品の安全性(報道発表)	UV をカットするという衣類用のスプレーを室内で缶の半分程度使用したところ、肺障害等を発症し、入院するという事故が発生した。この商品は、呼吸器系の中毒事故を引き起こす可能性のあるはっ水剤成分の一つであるシリコン樹脂が配合されているものであった。そこで、防水効果をうたっていない衣類用スプレー製品で、フッ素樹脂やシリコン樹脂等を含むものについて調査した。	7 銘柄中 4 銘柄で、吸入により肺深部に到達し、沈着する率が高いとされる 10 $\mu$ m 以下の粒子の存在率が高く、中毒事故のリスクが高いとされる範囲に入るものであった。7 銘柄中 5 銘柄で噴霧直後の付着率が低く、中毒事故のリスクが高いとされる範囲に入るものであった。さらに、吸入に関する注意表示が全くないものや、目立つように表示されていないものがあつた。
2	首から下げるタイプの除菌用品の安全性(報道発表)	首から下げるタイプの除菌用品で、化学熱傷を起こす事故が発生し、事業者が自主回収を行うことになった。これを受け、類似品の安全性に関する相談が寄せられたことから、二酸化塩素等による除菌効果をうたった首から下げるタイプの商品と、参考品として、成分に次亜塩素酸ナトリウムを含むとの表示のある銘柄を加え、皮膚への刺激性を中心に調べた。	皮膚への刺激性は、二酸化塩素による除菌をうたった 6 銘柄中 3 銘柄で「中等度の刺激性」、自主回収となった銘柄は「強い刺激性」と評価された。また、皮膚への刺激性が強かった銘柄ほど、塩素系物質の放散速度も大きい傾向がみられ、放散成分が溶け込んだ水分の酸性も強くなった。さらに、化学やけど等の皮膚障害に関連すると考えられる注意事項は、自主回収となった銘柄の代替品以外にはなかった。なお、1 銘柄の有効性の表示に、薬事法に抵触するおそれのある記述がみられた。
3	刈払機(草刈機)の使い方に注意(報道発表)	刈払機(草刈機)の事故の未然防止を図るために、具体的な事故事例を再現し、刈払機の使用上の注意(保護具の必要性、キックバックなど機械特有の事例、誤った使い方による事例など)について、消費者に情報提供することとした。	金属製の刈刃を使用中に、刈刃の先端から右側部分が障害物や地面に接触すると、刈払機ごと跳ね返されることがあつた。また、刈刃の接触位置によっては、樹脂製の試験片及び空き缶は 10m 以上飛散し、使用者の足にあたる場合もあつた。エンジンを切らずに絡まった草を取り除こうとした場合、草が取れた途端に刈刃の回転が再開し、手を受傷する可能性があつた。肩掛けバンドを装着していない状態で転倒した場合は、刈刃が容易に身体に触れることがあつた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
4	子ども用の花粉防御用眼鏡の安全性(報道発表)	子ども用の花粉防御用眼鏡について、形状や材質に係る安全性や視界の変化について調べ、消費者へけがを防ぐための安全な使用方法等の情報提供を行うとともに、来シーズンに向けてより安全性に配慮した商品の開発を事業者に要望することとした。	子ども用の花粉防御用眼鏡を使用している最中に衝突、転倒するなどして張り出しにより額を強打した際の安全性について、張り出しの材質による違いがあるのかを調べた結果、軟質樹脂により皮膚に与えるダメージが軽減されることがわかった。また、平面型に比べ、湾曲型の方が視界への影響は少なかった。
5	防犯ブザーの電池切れや故障に注意！(報道発表)	前回の公表から約5年が経過していることから、小学生が使用していた防犯ブザーの調査や保護者へのアンケートを実施して、防犯ブザーの使用実態を調査するとともに、全国防犯協会連合会の優良防犯ブザー10銘柄について、音量や耐落下衝撃などのテストを行った。	小学生が使用していた防犯ブザーの半数以上に、音が鳴らないなどの異常が生じており、電池の液漏れやふくらみなど、電池が劣化していたものもあった。また、7割以上の保護者は、現在使っている防犯ブザーの電池を交換しておらず、約半数の保護者は、ブザーが鳴るかどうか点検していなかった。音量のテストでは、2銘柄が一般社団法人電池工業会による「防犯ブザー」の規格で定められた音量の基準である85dB(A)未満であった。
6	自動車用緊急脱出ハンマーのガラス破碎性能(報道発表)	これまで本体のグリップ部を金づちのように握って使用する自動車用緊急脱出ハンマーについて、注意喚起を行ってきた。このほかにも、グリップ部をピックのように握って使用するタイプ、ヘッド部をウインドーガラスに押し当てて使用するタイプが販売されていることがわかったため、15社19銘柄について使用目的として最も重要なウインドーガラス破碎性能に着眼したテストを行った。	ウインドーガラスを破碎できないもの、車内に長期間保管したときに本体に変形や破損などの不具合を生じたものがあった。そのほか、ハンマー固定用の専用ホルダーが付属していないもの、フロントガラスは破碎できない旨の表示がないもの、表示に不適切な記載があるものもあった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
7	不良灯油による石油暖房機器の故障や異常に注意（報道発表）	灯油は保管方法を誤ると太陽光や熱による変質、水や灯油以外の油・ごみ等の混入などで不良灯油になることがある。そこで、実際に不良灯油を作成し、それらを石油暖房機器に使用することで、どのような異常が生じるかテストを行った。	直射日光の当たる屋外で灯油を保管した場合、灯油専用ではないポリ容器は紫外線透過率が高く、約半月で変質が見られた。変質灯油を石油ストーブに使用すると、給油タンク一杯分の量で、芯にタールが付着して火が着かなくなることや、緊急消火ボタンを押しても火が消えないことがあった。また、石油ファンヒーターでは点火できなくなり、刺激臭のする煙が出るようになった。取扱説明書や本体などには、不良灯油の使用を禁止することや、使用してしまった場合の症状、解決策が表示されていた。また、不良灯油が原因の故障は保証期間内でも、有償修理となることが表示されていた。
8	キャンドルブッシュを含む健康茶（報道発表）	キャンドルブッシュを使用した15銘柄の健康茶に、これらを利用することによって、どれくらいセンノシドを摂取する可能性があるのか、十分な注意表示はあるのか等を調べた。	全ての銘柄からセンノシドが検出され、約半数の銘柄は、カップに2、3杯の量を飲むことで医療用医薬品と同程度の量のセンノシドを摂取する可能性があった。多量に摂取した場合、下痢になる可能性がある旨の注意表示をしていた銘柄はなかった。
9	スマートフォンの充電端子の焼損や本体の発熱に注意（報道発表）	「スマートフォンの充電端子の焼損や本体の発熱等」に関する相談が、スマートフォンの普及とともに急増していることから、同様のトラブル拡大防止のために消費者へ注意喚起を行うこととした。	消費生活センター等の依頼によるテストの結果、充電の際、充電端子の接続部がショートに近い状態となって発熱し、周囲の損傷に至ったものや、ゲームアプリやテレビ電話の使用によって、内部回路のCPUなどへの負荷が増大したことによって発熱したものがみられた。
10	ステロイド不使用をうたった医療機関で処方された漢方クリームにステロイドが含有（報道発表）	ステロイドを使わず、漢方でアトピー性皮膚炎の治療を行うとインターネットでうたっていた「漢方クリーム」についての相談が消費生活センター等より寄せられ、複数の当該品にステロイドが含まれていたことから消費者に周知するため情報提供することとした。	当該品には、外用ステロイドホルモン製剤の有効成分の作用の強さとして5段階に分類されている中の最も強いランクにあるプロピオン酸クロバタゾール（クロバタゾールプロピオン酸エステル）が、国内で医薬品として承認されているプロピオン酸クロバタゾール製剤とほぼ同程度含まれていた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
11	海外で購入した血糖を下げるという漢方薬を服用して重篤な低血糖症（報道発表）	海外旅行先で購入してきた漢方薬を服用して低血糖症を発症し、意識不明の重症で病院に救急搬送されるという事故が発生した。この患者が病院に搬送されてきた際にはとても危険な状態で、処置をしないと脳に後遺症が残るか死亡に至っていた可能性もあった。この漢方薬に血糖降下作用のある医薬品成分グリベンクラミドが含まれていたことから情報提供することとした。	表示に従って服用すると、国内で定められている医薬品としての1日最高服用量の10mgを越えてしまうものであった。
12	販売時の表示とは異なり、公道走行できないペダル付き電動2輪車（報道発表）	インターネット通販で販売されていたペダル付き電動2輪車について、公道を走行できないことが判明したため、2005年に排除命令が出された。しかし、依然として公道使用の可否に関して曖昧な表現の商品が販売されている。そこで、販売サイトの表示や、車両の機能や装備の調査を行い、再度、情報提供を行うこととした。	販売サイトの記述に公道で使用できるかのような表現がみられた。しかし、ペダルをこがなくてもモーターが作動したり、モーターの出力がペダル踏力に追従していないため、自転車として公道走行できないものであった。また、保安部品が装備されておらず、原動機付自転車としても公道走行できないものであった。
13	米	新米を購入し電気炊飯ジャーで炊いたところ、炊きたては問題なかったが、20時間保温したご飯は、異臭がして食べることができなかった。米に問題がないか調べてほしい。	相談者が使用していた電気炊飯ジャーと同型の電気炊飯ジャー1台を用いて苦情品を炊飯し、20時間保温したご飯からは、異常な臭いが感じられたが、他の電気炊飯ジャーではそのような臭いは感じられず、米に問題があるとは言えなかった。一方、異常な臭いが感じられた電気炊飯ジャーは、米を変えても異常な臭いが感じられたことから、臭いの発生には少なくとも電気炊飯ジャーが関与していると推察された。
14	無洗米	「無洗米」を購入したが、とがないと濁りが消えない。濁度の問題がないか調べてほしい。	苦情品について、米穀公正取引推進協議会「米穀の品質表示ガイドライン」の無洗米の品質基準にある濁度測定方法を行ったところ、濁度の基準(40ppm以下)を満たしていた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
15	そば	贈答セットの中のそばをゆでて口に入れると、舌がピリピリとした感覚があった。家族も同様の感覚だった。原因を調べてほしい。	ゆでた苦情品の表面に、食べた際に刺激になると考えられるような突起等はみられなかった。また、食味のモニターテストでも、苦情品のそばに刺激を感じたモニターはおらず、「口に入れると、舌がピリピリとした感覚」につながる事象は確認できなかった。
16	冷凍の生食用ウニ	ミョウバン不使用とうたわれていた冷凍の生食用ウニを購入したところ、ミョウバンの入っているような味がした。ミョウバンが使用されていないか調べてほしい。	苦情品に食品添加物として用いられるミョウバン(アルミニウム化合物)が使用されたかをみるため、アルミニウムの含有量を調べたところ、14 ppmであった。これは天然の生ウニに本来含まれるアルミニウム含有量とほぼ同程度であることから、苦情品にはミョウバンは使用されていないものと考えられた。
17	食用オリーブ油	半年前に購入した食用オリーブ油が、オリーブ油とは思えない味や香りであった。オリーブ油かどうか調べてほしい。	苦情品の脂肪酸組成を調べたところ、オリーブオイルの範囲とされる範囲内であった。また、酸度(遊離脂肪酸)は、国際オリーブ協会の定めるエキストラバージンオリーブオイルの規定の範囲内であった。
18	蜂蜜	「純粋」との表示がある蜂蜜を購入したが、価格が安価だったので、「純粋」と表示できるものかが疑わしい。表示に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、水や異性化糖などの添加の可能性は低く、「純粋」の表示は、はちみつ類の表示に関する公正競争規約上問題ないと考えられたが、H.M.F.(ヒドロキシメチルフルフラール)が基準を満たしていなかったことから、蜂蜜としての品質にやや問題があると考えられた。
19	清涼飲料水	同じ銘柄の炭酸飲料を自動販売機と店舗で購入したところ、容器の形が異なり、店舗で購入した飲料のほうが、炭酸が抜けた薄い味であった。成分に違いがないか調べてほしい。	苦情品の店舗用、自動販売機用のナトリウム含有量、ビタミンC含有量、酸度、炭酸ガス内圧力に差はみられなかった。また、苦情同型品により行った味のモニターテストでは、店舗用と自動販売機用に多少の違いを感じるモニターもいたが、ほぼ同じであると評価された。
20	ポップコーン	電子レンジで作るポップコーンを作ったところ、刺激臭がし、そばにいた子どもが目や鼻に炎症を起こした。容器の材質等に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品を表示よりも長く加熱した場合に、通常食品を焦がしたときに発生する刺激のある成分が検出された。モニターテストでは、半数以上のモニターが目や鼻に刺激を感じていたことから、相談者の子どもの症状は、近くでこれらの成分に接したために起こった可能性が考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
21	健康食品	おなかがスッキリするという植物を含む茶葉を購入し、一日何度もお湯を継ぎ足して飲んでいたところ効果がありすぎる。下剤としての作用があるセンノシドが含まれていないか調べてほしい。	相談者の入れ方に合わせて苦情品をお湯で浸出させ、それを全量摂取した場合のセンノシド量を調べたところ、下剤としての生理作用を及ぼす可能性のある量であった。
22	健康食品	グルコサミンを高濃度で配合しているという健康食品のグルコサミン量が表示通りかどうか調べてほしい。	苦情品のグルコサミンの含有量は表示に比べてやや少ないものの、健康増進法に基づく栄養表示基準の成分の誤差範囲内であった。なお、苦情品の原材料名の表示ではグルコサミン塩酸塩は最も多い原材料にもかかわらず7番目に記載されており、JAS法に抵触するおそれがあると考えられた。
23	電気ジャーポット	5年前に購入した電気ジャーポットの中に白い粉が浮くため修理を依頼したところ、ふたの内側のプラスチックが溶けているとのことであった。白い粉が有害なものかどうか調べてほしい。	苦情品の内容器底面の縁にみられた白い異物は、FT-IR分析の結果、ポリプロピレンが加水分解により劣化したものであると考えられた。ポリプロピレンは体内に入ったとしても分解、吸収されずにそのまま体外に排せつされるため、切片のような形状のもので消化管を物理的に傷つけるおそれがないものであれば、健康上の問題はないと考えられた。
24	カセットコンロ	カセットコンロのスイッチを回して点火したところ、カセットボンベの装着箇所付近から火が出て、次いで、バーナーの外側からも炎が上がった。新品のカセットボンベに交換しても、同じ状態であった。原因を調べてほしい。	再現テストの結果、苦情品のコンロを使用したときに、コンロとボンベとの接合部付近からガスが漏れ、バーナー以外の部分から炎が出る場合があることが確認された。しかし、再現テストを終了する頃には、ボンベを装着した状態でのガス漏れが発生しなくなったこと、器具ガバナの部品の欠落や破損がなかったことから、ガスが漏れた原因の特定はできなかった。
25	オープンレンジ	約2年前に購入したオープンレンジが、購入当初からオープン機能を使用した後に音がし、最近になり音が大きくなってきた。音の原因を調べてほしい。	オープンレンジのオープン機能を使用した後の音は、調理による加熱で膨張した金属製の庫内壁などが、調理が完了して庫内壁が冷める際に生じるきしみ音であると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
26	オープンレンジ	購入7年目のオープンレンジで総菜を温めていたところ、発煙して食材が焦げていた。原因を調べてほしい。	苦情品は正常に動作することに加え、内部機構等に焼損等の痕跡がなく問題が認められなかった。さらに、類似の食材を用いた再現テストでも相談者の使用状況で食材が発火・発煙することはなく、発煙した原因は特定できなかった。
27	オープンレンジ	オープンレンジがいつの間にかデモモードに変わっていた。何もしなくても突然作動する。デモモードに入りやすい商品か調べてほしい。	苦情品は、参考品の4 銘柄と同様に、デモモードに設定するためのボタンの操作回数が多いほか、複数のボタンを組み合わせるなど、通常では行わない内容であることから、誤ってデモモードに入りやすい商品であるとは言えなかった。
28	電気グリル鍋	電気グリル鍋を箱にしまおうとしたところ、部品が本体から外れて落ちたため、足にけがをした。部品が外れやすい商品か調べてほしい。	事故は温度調節器またはプレートや深なべが外れて発生したと考えられた。苦情品はプレートや深なべを固定する仕組みはみられなかったが、同様の構造の参考品と比べて外れやすいとは言えなかった。また、苦情品の取扱説明書には「温度調節器は持たない。はずれて本体が落下するおそれ。」と注意表示があった。
29	コーヒーメーカー	2 年前に購入した、コーヒーメーカーの底部のホース取り付け部から、使用中に水が噴き出した。ホースの取り付けに問題がないか調べてほしい。	苦情品のホース、ニップル及びクリップの寸法は適切であり、正規の状態に取り付けられていれば、使用時の圧力によって外れることはないと考えられる。苦情品のホースが外れた原因は、購入時のホースの取り付け状態が不十分であった可能性や、2 年の使用過程で、繰り返し加わった圧力や振動の影響などにより、ホースの取り付けが徐々に緩んだことが考えられた。
30	コーヒーメーカー	2 年前に購入したコーヒーメーカーが通電しなくなり、裏蓋を開けたところ内部部品が焦げていた。内部部品が焦げた原因を調べてほしい。	苦情品は、電熱線用端子に用いられる平型接続子が何らかの原因で接触不良となり、異常発熱して焼損に至った可能性が考えられた。  しかし、苦情同型品を用いた再現テストでは電熱線用端子が高温となったものの、焼損に至るような異常発熱はしなかったことから、原因を特定することはできなかった。
31	電気ケトル	電気ケトルの水位を示す透明なプラスチック製の窓部分が加熱時に変形して、隙間が開くようになった。原因を調べてほしい。	苦情品の透明窓の隙間は繰り返し加熱・冷却による膨張と収縮や、成形時の残留ひずみなどの影響で溶着部に亀裂が発生・進展し剥がれたために生じたものと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
32	卓上型食器洗い乾燥機	6年前に購入した卓上型食器洗い乾燥機を使用中に、焦げる臭いがしたので中を確認したところ、小物入れが溶けて箸が焦げていた。原因を調べてほしい。	苦情品のヒーターが高温になったため、ポリプロピレン製の小物入れが溶けて箸が落下し、ヒーターに接触して焦げたものと考えられた。なお、洗い工程とすすぎ工程でヒーターが水没しておらず赤熱したため高温になったと考えられたが、水の流路に流れを阻害するような異物や汚れの付着等は見られなかったことから、ポンプに不具合が生じて吐出量が減少している可能性が高い。
33	食器乾燥機	3年前に購入した食器乾燥機を使用中、プラスチックが溶けるような臭いがするので、内部を見たところ部品が溶けていた。溶けた原因を調べてほしい。	食器乾燥機の後面にあるダクトの樹脂が溶けた原因は、腐食によりダクト内のヒーターの電熱線が断線し、マイカ板と電熱線が接触した状態になったためであると考えられた。
34	乳幼児用カップ	ストロー付きの乳幼児用カップを購入したところ、ストローを吸っても、飲むのが困難なことがある。構造等に問題がないか調べてほしい。	苦情品は本体、フタ、ストローで構成されており、ストローについている漏れを防止するためと考えられる弁があることにより、他のブランドのストロー付きカップよりも吸いづらくなっていると考えられた。また、苦情品、苦情同型品の中でも吸いづらさに個体差があったが、これは弁の切れ込みの大きさや厚さに個体差があったことに影響していると考えられた。
35	電子レンジ専用調理器	電子レンジ専用調理器を取扱説明書通りに使用したところ、電子レンジが調理完了前に止まってしまった。商品に問題がないか調べてほしい。	取扱説明書に紹介された調理方法を参考に調理を行ったところ、電子レンジが途中で停止し、調理が完了しないことがあった。しかし、電子レンジによっては調理できない場合があるなどの表示はなかった。なお、電子レンジが途中で停止したのは、庫内の物(容器など)が異常高温になったと認識され、安全機能が働いたことによるものと推察された。
36	ステンレス製携帯魔法瓶	ステンレス製携帯魔法瓶に熱いお茶を入れて使おうとしたところ、魔法瓶の外側が熱くて持てなかった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は初期不良として真空二重構造に何らかの不具合があり、内側の熱が逃げて外側が熱くなったものと考えられた。



SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
37	スープ用のポット	スープ用のポットに熱湯を入れて飲もうとしたところ、プラスチックが溶けたような味がした。ポットを洗浄しても同様であった。衛生上問題となる成分が溶出していないか調べてほしい。	苦情品に熱湯を入れることにより、溶剤などとして使用される脂肪族炭化水素類が検出されたため、これらが臭いに関与しているものと推測されたが、食品衛生法に準じて溶出試験を行ったところ、苦情品からの材質ごとの溶出物はすべて基準値内に相当し、衛生上の問題はないと考えられた。
38	片手鍋	2、3年前に購入した片手鍋の底に米粒くらいの穴が開いた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の材質や板厚は参考品と同等であり、商品に問題はみられなかった。なお、穴の開いた原因については、腐食部に付着物が見られたことや、腐食領域の広がり方から考えて、偶然、底部の表側と裏側のほぼ同じ位置に、塩分等を含んだ液滴などが付着することで、それぞれで腐食が進行し、表側と裏側のくぼみがつながったためと考えられた。
39	圧力鍋	圧力鍋を持ち上げた際、補助取っ手が割れたため、湯がこぼれ両足にやけどをした。補助取っ手が割れた原因を調べてほしい。	苦情品の補助取っ手の破断面には、熱による炭化や破断の原因となる傷もなく、また、苦情同型品を使った補助取っ手への繰り返し加熱・SG基準の強度テストでも壊れることがなかったことなどから、苦情品の補助取っ手が割れた原因を特定することはできなかった。
40	圧力鍋	約2年前購入した圧力鍋のパッキン部分から蒸気が漏れるのでパッキンを交換したが、同じ状態が続く。構造に問題がないか調べてほしい。	パッキンを含め苦情品に異常はみられないほか、SG基準を参考にした試験（強火による加熱試験）の結果、相談者の申し出のようなパッキンからの蒸気漏れは生じなかった。
41	圧力鍋	4、5年前に購入した圧力鍋の底の金属板が剥がれた。原因を調べてほしい。	圧力鍋からはり底が剥がれたのは、はり底が過度に高温になったときに、はり底内のアルミニウムが熔融して隙間ができ、鍋底との接合が弱くなったためであると考えられた。その状態で使用し、加熱冷却を繰り返すことで、はり底が剥がれたと推測された。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
42	たこ焼き器	たこ焼き器のスイッチを入れたときに、スイッチ部が飛んで火花が出た。原因を調べてほしい。	火花が出た原因は、スイッチボタンの支軸部が破損したため、クランクとバネの固定が外れ接触し、短絡したことによるものと考えられた。苦情同型品で行った400回の断続動作テストや20サイクル分の再現テストでも破損や火花の発生は起こらなかったが、苦情品とはスイッチ支軸部の形状が異なっており、苦情品と同じ構造のものでテストできなかったため、スイッチボタンの支軸部が破損した原因を特定することはできなかった。
43	フライパン	購入後約3カ月でフライパンのねじが脱落し、取っ手が外れた。その後、時々ねじを締めながら使用していたが、調理中に再び取っ手が外れた。取っ手が外れた原因を調べてほしい。	苦情品の取っ手が外れた原因は、止めねじが苦情同型品より短かったことに加え、フライパン本体のめねじのねじ山がつぶれていたためと考えられた。
44	フライパン	約3年前に購入したフライパンで調理中に、突然取っ手が根元から破損した。破損した原因を調べてほしい。	苦情品の取っ手が破損した原因は、取っ手内に残留した水分により止めねじが腐食して強度を保てなくなったことにより、取っ手の樹脂に加わる負荷が増大したためと考えられた。
45	やかん	やかんの注ぎ口に付いた笛部分が溶け落ちた。再度、同じやかんを購入したところ、数回で同様に笛部分が溶け落ちた。やかんの笛部分が溶け落ちる原因を調べてほしい。	苦情同型品は、ガスこんろの五徳上の設置位置がずれたり、火力が強過ぎて炎が注ぎ口に達するような場合には、笛部分の樹脂の耐熱温度を超えることになり、樹脂が変形する場合があった。ラベルの表示を調べたところ、取っ手についての記載はみられたが、設置位置や火力によっては、耐熱温度の高い笛部分でも変形等することがあるとの注意表示はみられなかった。
46	やかん	2週間の使用でやかん内部の底が黒く変色した。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の側面や、苦情同型品の底面のアルマイト層の厚さに問題はみられなかったことから、苦情品の新品時のアルマイト層の厚さにも問題がなかったと推測される。なお、苦情品の変色の原因は、何らかの理由で、アルマイト層が失われて母材がむき出しになり、局所腐食が生じた後、黒色の酸化皮膜が再形成されたためと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
47	やかん	IH クッキングヒーターでやかんを11カ月間使用したところ、やかんの取っ手が根元から折れた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の取っ手の破断面から、取っ手の折れが繰り返し荷重によって生じたのか、衝撃により生じたのか等の判定をすることができなかった。また、苦情同型品を用いて、SG 基準に基づく強度テストや、耐熱衝撃性テストを行ったが、苦情品のような折れは再現しなかった。今回のテストからは、苦情品の取っ手が折れた原因を特定することができなかった。
48	やかん	1カ月前に購入したやかんの注ぎ口に付いた笛部分が溶けた。溶けた原因を調べてほしい。	五徳中央に苦情同型品を設置し、記載の注意表示を守り側面から炎があふれない程度の火力で加熱する限りでは、笛部分の樹脂に変化はみられなかった。しかし、設置位置が五徳中央からずれていたり、強火で加熱するなど、炎が底面からあふれ、注ぎ口に直接当たる場合には、笛周辺の樹脂の温度が記載の耐熱温度(180℃)を超え、樹脂が溶けて変形する場合があることが分かった。なお、今回テストした限りでは、軸部分の樹脂は苦情品のように溶けて変形し笛の開閉ができなくなることはなかった。
49	ポリタンク容器	水を長期間保存できるという特殊な抗菌剤を使用したことをうたったポリタンク容器を購入したが、衛生面が心配になり、使用を途中で中止した。衛生面に問題がないか調べてほしい。	新品である苦情同型品で1カ月余り保存した水道水の衛生面には問題がみられなかったが、購入後1年半の間に何度か使用された苦情品では問題がみられた。一般的な「抗菌効果」から考えて、タンク内の水に入った細菌等を完全に死滅させるというものではなく、消費者がタンク内に入った微生物を除去したり、タンクに水を無菌的に入れるのは期待し難いと考えられるため、苦情品で水道水を長期間、衛生的に保存するのは困難な場合があると考えられた。
50	ウォーターサーバー	半年前に契約し借りていたウォーターサーバーの給水ホースの内側が黒くなっていた。黒い異物とウォーターサーバーから出てくる水質を調べてほしい。	水のボトルから本体へつながる樹脂製のチューブ内部の黒い異物は、カビ等の微生物のかたまりであり、ウォーターサーバーを通した水からは、水道法等の基準にあてはめてみた場合、基準を上回るレベルの微生物が検出された。このことから、当該苦情品を現状のまま使用するには衛生上問題があると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
51	ミネラル還元水素水生成器	約1年前にミネラル還元水素水生成器を購入した。気泡が少ないと思うので、表示通りに水素が発生しているか調べてほしい。	苦情品で水道水から調製した直後の水の溶存水素濃度は水道水（0.02mg/L 未満）より高い（0.10mg/L）ことから、苦情品から水素が発生していると考えられたが、水素が20℃で水に溶け込むことができる最大濃度（約1.6mg/L）の1/16程度であった。なお、長時間の保存や沸騰により、溶存水素濃度は調製前の水道水と同様、検出できないほど低くなった。
52	炭酸水製造機	炭酸ガスカートリッジを炭酸水製造機のノズルに取り付けた後、水を入れたボトルに取り付け炭酸水を作ろうとしたところ、ノズルが突然飛び出し、右目頭に当たり負傷した。ノズルが飛び出した原因を調べてほしい。	ボトルに水を入れ、炭酸カートリッジをセットし、ノズルを炭酸ガスが噴出されるまで回し、噴出中に逆に回すとノズルが飛び出すが、通常の使用でノズルが飛び出す事象は確認されなかった。
53	炭酸水製造機	初めて炭酸水製造機を使用し、炭酸水を作ろうとしたところ、ボトルが破裂して右手指を負傷した。ボトルは上方に飛び、天上に突き刺さっていた。ボトルが破裂した原因を調べてほしい。	苦情品が破裂した原因は、台座をはめ込むためにボトル部分がくぼんだ箇所に亀裂が入っていた可能性が考えられた。なお、亀裂については、初めて使用した際の事故であることや、パッケージに破損や変形が見られないことから、製造時に生じていた可能性が考えられた。
54	洗濯乾燥機	昨年購入した洗濯乾燥機で、敷パッド2枚と、綿毛布、タオルケット、おねしょシーツ等を洗濯したところ、脱水時に強い振動が発生し、洗濯乾燥機が破損した。洗濯乾燥機が破損した原因を調べてほしい。	取扱説明書で洗濯機で洗濯してはならないとされる防水性の洗濯物が洗濯物のかくはんを妨げていたことや、サイズ、質量の大きな洗濯物が上の方に入れられていたことにより、すすぎ脱水のための高速回転中に上方の質量の大きな洗濯物が遠心力により移動したため、バランスが崩れ、異常な振動が生じ洗濯機が破損したものと考えられる。なお、苦情同型品による再現試験の際にも、本体が破損しても非常停止する機能は働かず運転し続けた。
55	洗濯乾燥機	2年前に購入した洗濯乾燥機は、衣類が破れることがたびたびあり、メーカーに修理にきてもらったが原因不明であった。商品に問題がないか調べてほしい。	相談者が使用したものと同銘柄の衣類を用いて、苦情品での再現テストを試みたが、衣類が破れるような状況は発生せず、原因の特定には至らなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
56	洗濯乾燥機	8カ月前に洗濯乾燥機を購入した。当初から洗濯をすると異常に泡が出て、衣類に粉が付着したり、部屋に落ちたりして、その結果皮膚障害及び体調不良になった。洗濯物から落ちる粉に洗剤由来の成分が含まれているか調べてほしい。	苦情品で洗濯した際に異常に泡が出たり、洗濯物に粉が付着するという現象は再現されなかった。
57	ドラム式洗濯乾燥機	約10年前に購入したドラム式洗濯乾燥機を使用中、エラー表示が出たので、糸くずフィルターから糸くずを取ろうとしたところ、プラスチックのような破片が詰まっていた。破片を取り除くと洗濯機は動いたが、洗濯物に破片が付着しており、振って取り除いたため、持病のぜんそくが悪化した。糸くずフィルターに詰まっていた破片が何か調べてほしい。	提供されたドラム式洗濯乾燥機の糸くずフィルターに残っていたという破片を調べたところ、繊維強化プラスチックの破片である可能性が高いと考えられた。苦情品がすでに廃棄されているために、苦情品由来のものか、外部のものかなどを特定することはできなかった。
58	全自動洗濯機	全自動洗濯機で洗濯したものを水ですすいだところ、水が濁って泡が出た。全自動洗濯機のすすぎの性能を調べてほしい。	洗濯後の衣類等には界面活性剤が残留・付着していたが、今回テストした限りでは、苦情品と他メーカーの洗濯機でそれぞれ洗濯した衣類に含まれる界面活性剤量に差はみられなかった。
59	全自動洗濯機	7年前に購入した全自動洗濯機のプラグを差し込んでいたコンセントから発火し、コンセントの差込口付近が焼損した。発火した原因を調べてほしい。	プラグには、導線の2本ともに熔融痕があり、分離していたコードもプラグ側の導線端で2本ともに熔融痕がみられた。これらの状況から、プラグの根元付近でショートしたものと考えられた。プラグが焼損し、一部欠損した状態では発火の発生状況は確認できず、原因の特定には至らなかった。
60	布団乾燥機	約20年前に購入した布団乾燥機を使用していたところ、電源コードから発火し、付近のカーペットが焦げた。発火した原因を調べてほしい。	苦情品は製造から20年以上経過しており、長年の使用で電源コードが劣化したことや屈曲が繰り返されたため、芯線が半断線状態となって発熱し、短絡・スパークして発火に至ったものと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
61	スチームアイロン(コードレス)	スチームアイロン(コードレス)を使用中、電源を入れたまま5分から10分スタンドに置いていたところ、スタンドが溶融した。原因を調べてほしい。	苦情品はかけ面の温度が一定の範囲内になるように調節を行うサーモスタットに用いられているバイメタルが下方に曲がっており、苦情同型品のかけ面の温度及び取扱説明書に記載されている温度に比べて極めて高い温度(260℃)になっていた。しかし、苦情同型品のかけ面の温度を約260℃にしてスタンドに放置した場合、24時間経過しても溶融の程度は苦情品より軽かった。
62	電気掃除機	電気掃除機を購入し使用したところ、次々と家電製品に不具合が生じた。電気掃除機から発生する高調波を調べてほしい。	苦情品から発生する高調波について、JIS規格を基に行った測定では、いずれも規格範囲内であり、総合高調波電圧ひずみ率についても問題はみられなかった。
63	スチームクリーナー(スタンド式)	スチームクリーナーのパーツを外す際に抜けにくく親指を負傷した。再度使用したときも同様に親指を負傷した。構造に問題がないか調べてほしい。	指を負傷したのは、ロックボタンを押し込んだまま延長ハンドルを引き抜いた際に、指先がロックボタンの周囲の部分と固定穴の間に挟まれたことが原因であると推察された。苦情品の取扱説明書には、分解時の指詰めに関する注意表示があったものの、参考品2銘柄と比較して指が挟まれやすい構造であった。
64	高圧洗浄機	4年前に購入した高圧洗浄機が洗車中に発煙した。発煙した原因を調べてほしい。	ポンプを駆動するモーターの電機子巻線の一部に絶縁不良や断線などの異常が発生したために、回転数が低下したことで電流が増大、コイルの温度が上昇して発煙したものと考えられた。
65	洗濯用合成洗剤	液体の洗濯用合成洗剤で洗濯した後に、洗濯物にしみを発見した。使用した液体の洗濯用合成洗剤が原因か調べてほしい。	テストした限りでは、苦情品がしみ発生の原因となっているとは考えにくかった。また、提供された繊維製品に付いたしみの性質の調査を試みたが、特定することができず、しみが発生した原因は不明であった。
66	洗濯用着香剤	洗濯時に衣類に香りをつける商品の試供品を使用して、黒色のワンピースと紺色のセーターを洗濯したところ、何カ所も変色した。洗濯用着香剤による変色かどうか調べてほしい。	提供されたワンピース及びセーターにみられた繊維の変色は、苦情品では再現されず、苦情品に由来するものではないと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
67	トイレ用消臭剤	スプレータイプのトイレ用消臭剤を使用したところ、ガスが抜け、中身が残っているのに噴射できなくなることが、3本続いた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の内容液が残っているのにガスがなくなり噴射できなくなった原因は、内容液が通るチューブの先端が噴射口と反対の方向を向いており、傾けて使用するとチューブの先端がガス相に出た状態となるため、ガスのみが噴射される状況が繰り返され、内容液が残ってしまったと考えられた。
68	芳香剤	自動車のシフトレバーに芳香剤をつり下げて使用していたところ、約3週間でシフトレバーのカバーの樹脂部分が溶けた。溶けた原因を調べてほしい。	芳香剤には、樹脂の可塑剤として使用されることのあるフタル酸ジエチルが含まれており、芳香剤がシフトレバーのカバーの樹脂部分と接触した際にフタル酸ジエチルがにじみ出し、樹脂を軟化させたものと推察された。なお、苦情品には樹脂を変色・変質させるおそれがある旨の表示があった。
69	加湿器	加湿器のスイッチを入れたところ、蒸気の吹き出し口から瞬間的に火が出た。火が出た原因を調べてほしい。	加湿器の吹き出し口から火が出た原因は、ヒーター内部に水が浸入して腐食したことで、ヒーター内部の2つの電極が短絡した状態となり、過大な電流が流れて焼損したためと考えられた。ヒーター内部に水が浸入したのは、ヒーター水槽に堆積したスケールが徐々にパッキンの隙間に入り込んで止水できなくなった可能性が考えられた。
70	加湿器	昨年購入したスチーム式加湿器の吹き出し口から熱湯が噴出した。原因を調べてほしい。	苦情品は、苦情同型品と同様に正常に作動し、運転時の水温などにも異常は確認されなかった。従って、蒸気吹き出し口からアロマポットの高さまでお湯が上がり、周囲が濡れた原因は不明であった。
71	扇風機	扇風機を「強」にしても、風量がほかの扇風機より弱く感じる。風量に問題がないか調べてほしい。	苦情品の風速及び風量は、参考品3 銘柄と比べて小さめであったが、JIS C 9601「扇風機」を参考にして測定した風速と算出した風量については基準よりも大きい値であり、商品に問題があるとは考えられなかった。
72	充電式扇風機	約2年半前に購入した充電式扇風機のバッテリーが液漏れした。原因を調べてほしい。	苦情品はバッテリーケースに何らかの原因で亀裂が生じており、バッテリーが液漏れした原因は、過充電によってガスが発生し内部内圧が上昇した際に、電解液（希硫酸）が亀裂から漏れ出たものと考えられた。なお、苦情品は過充電を防止する保護回路がなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
73	空気清浄機	ウイルスやホコリなどを吸い取るという広告を見て空気清浄機を購入したが、ホコリなどを吸い取っているように感じられない。効果に関する広告に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、ある程度の空気清浄効果が期待できるものの、相談者が使用したような広い環境（4.5+6畳）においては、性能が不足しており、十分な効果が期待できない可能性が考えられた。
74	空気清浄機	空気清浄機2台を1年7カ月前から使用していたところ、1台の空気清浄機の騒音がひどくなり、内部で火花が散ったため使用を中止した。もう1台も同じように騒音がひどい。原因を調べてほしい。	苦情品は使用の過程で板状の電極の表面に汚れが付着し白化したことや、板状の電極の内部電極にさびが発生したために、放電状態が不安定となって火花などが発生するようになり、騒音が大きくなったものと考えられた。なお、板状の電極は、手入れがしにくい場所であった。
75	電気あんか	10年以上前に購入した電気あんかが「弱」では暖まらなかったため、「強」にして就寝したところ、右のふくらはぎにやけどを負った。温度調節機能に問題がないか調べてほしい。	苦情品の最高温度は約73℃になるが、その後は66℃付近で安定していた。その温度はJISの基準値（90℃）以下であり、温度調節機能に問題があるとは言えなかった。
76	オイルヒーター	約4年前に購入したオイルヒーターの側面が溶けて変形した。原因を調べてほしい。	苦情品の操作パネルの裏側に異常発熱の痕跡は見られず、連続運転時も操作パネルの温度が異常に上昇することがなかったことから、パネルの変形はオイルヒーター本体からの発熱によるものではなく、何らかの外的要因によるものと考えられた。
77	オイルヒーター	オイルヒーターを購入したが、期待した機能ではなかった。商品の消費電力や表面温度が取扱説明書通りか調べてほしい。	消費電力は取扱説明書に記載されている値よりやや小さかったが、電気用品安全法に規定されている許容差以内であった。また、フィン（放熱板）の表面温度は取扱説明書に記載されている値と同等又はそれ以上であり、商品に問題があるとは言えなかった。
78	電気足温器	電気足温器の加熱が止まらず高温になり、使用を中止した。危険なので商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は運転モードLOWではサーモスタットが作動する温度に達しないため、加熱が止まらず、つま先温度は電源ONから約4時間後に、約70℃の高温のまま平衡になることがわかった。また、LOWで平衡になったときの温度のほうが、HIGHのときの平均温度よりも7℃以上も高くなることもわかった。これらのことから、本商品は温度制御に問題があると考えられた。



SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
79	電気足温器	電気足温器を使用中に、30分ほどうたた寝をしていたところ、右足の裏に低温やけどを負った。危険なので商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品、苦情同型品で温度パターンが異なるほか、JISの基準値(60℃)を越えることがわかった。中にはLOWであっても70℃の高温になるものもあり、温度制御などの品質にばらつきがあり問題であった。さらに、足を動かさずに長時間同じ状態であると、低温やけどを負う可能性があることもわかった。苦情品には低温やけど防止のための使用上の注意表示がなかった。
80	電気ストーブ	中古で購入した電気ストーブのスイッチを入れると耳鳴りがひどくなる。電気ストーブから発生する電磁波を調べてほしい。	苦情品から放射される電磁波は、許容値を大きく下回っており、問題は確認されなかった。
81	電気ストーブ (カーボンヒーター)	約5年前に購入した電気ストーブが使用中焦げ臭くなった。原因を調べてほしい。	使用中に焦げ臭くなった原因は、ロータリースイッチの高温設定の端子の焼損が最も激しいことから、内部の接点の接触不良などにより異常発熱し、接点及びその周辺部が焦げたためと考えられた。なお、苦情同型品の入手ができなかったため、ロータリースイッチに問題があるかどうかについては調査できなかった。
82	電気温風機(セラミックファンヒーター)	電気温風機の吹き出し口が焦げた。焦げた原因を調べてほしい。	吹き出し口はヒーター部の熱により変色したことに加え、ヒーターの放熱部のほこりが熱により炭化し、その際に発生したガスの成分が付着したため変色したものと考えられた。なお、5秒間の接炎テストの結果から、吹き出し口がヒーター部の熱により熔融や発火に至ることは考えにくい。苦情品は、使用者のメンテナンスで内部のほこりを取り除ける構造ではなかった。
83	セラミックファンヒーター	購入後2年間しまっていたセラミックファンヒーターを初めて使用したところ、プラグの付け根から発火した。原因を調べてほしい。	苦情品は、何らかの原因で電源コードに過度な機械的ストレスが加わるなどして局部的に屈曲したため芯線が半断線状態となり、異常発熱して断線に至ったものと推察された。なお、苦情品の電源コードの強度については、苦情同型品が入手できず、電気用品安全法の技術基準に定められている「折り曲げ試験」などが行えなかったため、確認できなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
84	電気こたつ	3年前に購入した電気こたつのヒーターカバーで3歳の女儿がやけどし、こたつ布団も焦げた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品はヒーターユニットが正常に作動し、測定した各部の温度に問題はなかった。保護網でやけどをしたり布団が焦げたのは、保護網にある程度の時間触れてしまった、または、保護網の植毛加工の厚みが薄い部分に触れてしまったことが原因と考えられた。また、布団などが保護網に接触することで、放熱が妨げられ、保護網の表面が更に高温になっていた可能性もある。
85	石油ストーブ	購入した石油ストーブの操作つまみが消火位置まで上がらず、消火できなかつたため交換してもらったが、交換した石油ストーブも同じ状態になった。危険なので原因を調べてほしい。	苦情品は取扱説明書の記載どおり、変質灯油を使用したことで、芯の部分にタールを生じ、芯と芯調節器が固着して芯の上下に支障をきたしたことが消火できなかつた原因と考えられた。
86	石油ファンヒーター	20年位前に購入した石油ファンヒーターを使用中に、意識を失った。一酸化炭素中毒が疑われるので、商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は室内の一酸化炭素濃度が高くなると、不完全燃焼防止装置が作動し、停止することが確認され、問題はみられなかった。
87	石油ファンヒーター	石油ファンヒーターの温風吹き出し口から炎が出た。原因を調べてほしい。	苦情品の温風吹き出し口から炎が出る現象は再現されず、原因の特定には至らなかった。ただし、送風管のゴムには亀裂が生じており、前面カバーを留めるネジの脱落などで外れやすくなり、不具合が生じる可能性が考えられた。
88	学習机	約2年前に購入した子ども用の学習机から発生する刺激臭が気になっていた。先日、学習机や付属の本棚に沿って部屋の壁紙が茶色に変色しているのに気づいた。発生している化学物質について調べてほしい。	提供された本棚の測定結果から、6畳の部屋に設置した場合のVOC(揮発性有機化合物)の室内濃度を算出したところ、指針値が設定されている8成分及びTVOC(総揮発性有機化合物)は、それぞれ室内濃度指針値、暫定目標値を超えることはなかった。しかし、人に対して発がん性のあるベンゼンに関しては、室内濃度指針値が設定されていないものの、購入後2年を経過したテスト時点においても大気に関する基準(環境基準)よりも数値的には高くなると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
89	椅子	説明書に従い組み立てた椅子に座ったところ、座面の支柱を受ける樹脂部分が割れて、椅子が壊れ、肋骨を損傷した。椅子が破損した原因について調べてほしい。	破断面調査の結果から、苦情品の破断は軸のねじ部の下端と軸受けのねじ部の上端だけが重なった状態で、その1点に荷重が加わったことにより生じた過大な応力によるものであると考えられた。しかし、苦情同型品に対して、破断面調査結果から考えられる事故状況を再現した荷重テスト等を実施したが、軸受けは破損しなかった。なお、苦情品及び苦情同型品の軸受けの内部には樹脂の成型時に生じたと考えられる気泡が多数見られたが、5月に購入した後継品は軸受けの形状が変更され、内部に気泡が見られず、肉厚が約2倍となっていた。
90	椅子	5年前に購入したダイニングチェアの背もたれの接合部が折れた。もう1脚のダイニングチェアも接合部から脚に縦方向に亀裂が入った。強度に問題がないか調べてほしい。	JIS S 1203「家具—いす及びスツール—強度と耐久性の試験方法」に基づく一連の強度試験等を行った結果、強度に問題はないと考えられた。しかし、椅子にもたれかかったとき最も負荷がかかる部分が破損したり割れが生じていたことから、より大きな負荷が加わるなどの使用状況により破損に至ったものと考えられた。
91	椅子	約2年前から使用している木製の椅子に座っていたときに、4本脚のうち1本が折れた。折れた原因を調べてほしい。	苦情品は最も力がかかる脚の部位（座面との接合部付近）に大きな節があり、強度が低くなっていたものと考えられた。苦情同型品にも同様な位置に節がみられたが、根元からの距離や深さが苦情品と異なっており、JISに基づく強度試験で問題はなかった。
92	椅子	約4年前に購入した食卓用の回転椅子のねじが緩んでがたつくようになった。ねじの取り付け方法に問題がないか調べてほしい。	座面を回転させるための旋回部品は、脚部上部と座面裏側の間に各4本のねじで取り付けられていた。緩んでいた脚部上部のねじはタッピンねじであった。座面裏側のねじはボルトで、緩み防止の目的で用いられるスプリングワッシャが挟みこまれており、ねじ穴には鬼目ナットのような埋め込みナットが使用されていた。脚部上部のタッピンねじは、椅子を使用する際の振動や衝撃などで繰り返し荷重がかかり、緩んでいったと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
93	椅子	約1年前に購入して組み立てた椅子を使用中に、背もたれが外れて転倒し、腰を打撲した。ボルトが外れた原因を調べてほしい。	苦情品の背もたれを固定するボルトとねじ穴のねじ山の状態から、ボルトは引っ張られて抜けたのではなく、緩んで抜けたものと考えられた。また、ねじ山の潰れやボルトに曲がりが見られたことから、ボルトが緩んだまま使われていたものと考えられた。苦情同型品による背もたれの耐久試験では、ボルトの緩みなどは見られなかったことから、適切に組み立てていればボルトの緩みは生じにくいと考えられた。
94	椅子	通販で購入した椅子に座ると、前のめりになり倒れる危険性がある。安定性に問題がないか調べてほしい。	JIS規格に準拠した安定性試験を行ったところ、苦情品は120Nの垂直力で転倒することが確認され、実際の使用においても立ち上がる際などに転倒する可能性があった。このため、椅子としての安定性に問題があると考えられた。
95	座椅子	赤色の座椅子の色が、着用していたTシャツとズボンに移染した。座椅子が色落ちしやすい商品かどうか調べてほしい。	苦情品の座椅子は、表地と衣服が擦れると衣服に色移りしやすいものであると考えられた。また、苦情品には家庭用品品質表示法で定められている表示等がなく、同法上問題があると考えられた。
96	ベッド	約3年前に購入したベッドのマットに虫がわいていた。どのような虫か調べてほしい。	苦情品表面から発見された虫はチャタテムシの一種で、国内外に広く生息している虫であった。苦情品の購入から約3年が経過していること、苦情品の内部には虫が大量発生しているような箇所や巣、死骸等は確認できなかったことから、チャタテムシの発生原因が苦情品にあるとは言えなかった。
97	敷き布団	1年前に購入し、使用していた羊毛敷き布団から白い粉状のものが大量に出てきた。白い粉状のものが何か調べてほしい。	苦情品の白い粉には繊維の他に白く薄い固形物が混ざっていた。固形物は、アミド結合を持ち、炭素と酸素を多く含んでおり、キサントプロテイン反応を呈することから、たんぱく質であると考えられ、拡大観察の結果から、落下した表皮などの皮膚片であると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
98	掛け布団カバー、シーツ、枕カバーのセット	シルク 100%の掛け布団カバー、シーツ、枕カバーのセットを購入したが、肌触りがシルクとは思えない。シルク 100%かどうか調べてほしい。	苦情品には、「繊維の組成」、「洗濯等取扱い方法」、「表示者名及び連絡先」の表示がみられなかったことから、家庭用品品質表示法上問題となるおそれがあると考えられた。また、組成を調べたところポリエステル及びポリウレタンであったため「シルク 100%」などと広告でうたって販売していることは、特定商取引法上の誇大広告等に該当するおそれがあり、かつ、景品表示法の優良誤認にも該当するおそれがあると考えられた。
99	敷きパッド	表面が綿 100%の敷きパッドを購入したが、生地の手触りがごわごわして綿 100%とは思えない。商品の組成表示が適正かどうか調べてほしい。	苦情品の混用率を調べたところ、表示との誤差は家庭用品品質表示法 繊維製品品質表示規程に定められた許容範囲内であった。
100	羽根枕	1 年前に購入した羽根枕を使用していたところ、枕から出てきた羽根で顔面にすり傷ができた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品はフェザーの吹き出し防止対策がされていると考えられたが、ネックフェザー、尖軸フェザー、そして、尖軸フェザーになる未熟フェザーが含まれており、使用に伴ってフェザーが吹き出してしまう可能性がある。吹き出してくる先端のとがったフェザーは、顔等を傷つけてしまう危険性があると考えられた。
101	アルミシート	アルミ 4 層構造のシートを購入したが、暖かさが感じられない。保温性の表示に問題がないか調べてほしい。	苦情品には一定の保温性があると考えられるものの、苦情品を単独で使用する場合の保温性は冬季の掛け寝具としては十分でないと考えられた。販売広告においては苦情品のみで寝具として使用できる保温性を持つと消費者に期待させてしまう可能性があると考えられた。
102	のれん	通信販売で購入したのれんから異臭がし、肌にも刺激があったので洗濯をしたが、その際にも刺激を感じた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品のホルムアルデヒド含有量は、参考にした「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律施行規則」の基準値よりも少ないものであったが、検出されたいくつかの揮発性成分は製造工程の加工剤や染料等に由来すると考えられ、相談者が感じたにおいの一因になっていると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
103	マット	子ども部屋にジョイント式マットを32枚敷き詰めたところ、臭いがきつく頭痛がして息苦しくなった。干しても洗っても臭いが取れない。臭いの原因を調べてほしい。	苦情同型品から検出されたジイソプロピルベンゼン、ジイソプロペニルベンゼン、トルエンには刺激臭があるため、これらが混合したものが臭いの主原因になっていると考えられた。なお、これらの物質は架橋剤や溶媒等として使用される物質であることから、臭いは原材料に由来するものと考えられた。
104	電球形LEDランプ	電球形LEDランプが使用して約半年過ぎた頃から次々と暗くなってきた。暗くなった原因を調べてほしい。	苦情品は、直列に接続された3つのLED素子のうちの1つが損傷したことによって、他のLED素子に適切な電流が流れない状態となり、暗くなったものと考えられた。LED素子の損傷は、苦情品をシャンデリアに取り付けて使用したことによって、セード内に熱がこもり、周囲温度が上昇したことが一因となった可能性のほか、単品不良や耐久性に問題があった可能性も考えられるが、原因を特定することはできなかった。一方、苦情品には熱がこもりやすい器具での使用に関する具体的な記載はみられなかった。
105	手回しランタン	購入した手回しランタンが、表示された仕様と違ってすぐ暗くなる。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品のパッケージには1分間の手回しで点灯する時間が表示されていたが、今回のテストでは表示通りの性能を有していないことがわかった。また、苦情品はリチウムイオン充電電池と発電機、単一乾電池用の電池ボックスが並列に接続されており、使用状況によっては乾電池の液漏れ、破裂の危険が考えられた。
106	吸盤タイプの手すり	立ち上がりを補助する吸盤タイプの手すりを、ユニットバスの壁に取り付けたところ、1カ月も経たないうちに外れてしまった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品を取扱説明書の条件を満たした壁面で取り付けたテストでは、1カ月の間、取り付け状態に問題はみられなかった。
107	踏み台	樹脂製の踏み台の側面が割れたため代替品を送ってもらい使用していた。この代替品も側面部が割れ、使用していた子どもが転倒し臀部を強く打った。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品については、耐荷重量100kgの4倍以上の荷重を加えないと破損せず、強度に問題はみられなかった。苦情品が破損した原因については、今回の破損の前に何らかの原因で生じていた亀裂等により強度が低下していた可能性がある。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
108	踏み台	2～3年前に購入した踏み台に乗り、木の枝を切っていたところ、踏み台の脚が破損したため落ちて打撲した。破損した原因を調べてほしい。	苦情品の強度に問題は見られず、支柱が破損した原因は外側から内側へ、耐え得る強度以上の過大な力が加わったためと考えられた。しかし、通常の使用方法では苦情品のように内側に破損するとは考えにくく、破損の原因については不明である。
109	踏み台	段差のあるベランダへの出入りに使用していた木製の踏み台が壊れたため転倒し、肋骨を折った。耐荷重を超える使い方はしていないはずである。強度に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品は品質にばらつきはみられるものの、垂直荷重に対する強度に問題はみられなかった。なお、苦情品は破損状態等から転倒の際に折れた2脚に対して横方向から力が加わったために破損に至ったと考えられた。
110	テーブルタップ	テーブルタップ(4口)にセラミックファンヒーターと学習機の電灯をつないで使用していたところ、テーブルタップと床が焦げた。焦げた原因を調べてほしい。	苦情品と床が焦げた原因は、スイッチ内の接点部で異常発熱が発生したためと考えられた。異常発熱の原因として、接点部に導電性の異物が挟まった、または接点部が接触不良を起こした状態で通電したことが考えられるが、分解調査の結果、内部に導電性のあるシャープペンシルの芯が付着していたため、シャープペンシルの芯が挟まったことが原因と推定される。
111	テーブルタップ	1年3カ月前に購入した個別スイッチ付きのテーブルタップ(4個口)を使用していたところ、スイッチ付近から火花が出た。原因を調べてほしい。	テーブルタップから火花が出た原因は、スイッチボタンの支軸部の破断でクランクとバネの固定が外れ接触し、ショートしたことによるものと考えられた。しかし、苦情品の正常なスイッチで行った5500回の通常使用の断続動作テストでは破損は起こらず、破断原因の特定には至らなかった。
112	防犯用錠前	丸いドアノブにかぶせてロックする形式の錠前を購入した。解錠した時に部品が外れて落下するため、取り付け翌日に部品が破損してしまった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は取扱説明書に基づく使用方法では、解錠時に落下することはなく問題ないと考えられた。しかし、ドアノブの握り玉を2枚のプレートで挟み込むだけで内側のベースを固定している商品であるため、取り付け方法や使用状況によっては落下による破損の可能性があった。また苦情同型品による落下テストでは、ベースの強度にバラツキがあることがわかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
113	散水ホース	4カ月前に購入した散水ホースから水が漏れて使用できなくなった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品から水漏れが生じた原因は、ホース内側が使用によって肉厚が薄くなったことや劣化したことによって、ひび割れが発生・進行し、切断に至ったためと考えられた。苦情同型品によるテストの結果、繰り返しの使用で伸縮することにより、ホース内側の肉厚が薄くなったことから、強度が低下し、破損しやすくなっている可能性が考えられた。
114	ごみ袋	取っ手のついたごみ袋を開こうとすると、ほとんどが縦方向に裂けてしまう。強度に問題がないか調べてほしい。	苦情品の引張強さを調べた結果、市のごみ袋の規格を満たしていた。また、ごみ袋の耳を持って勢いよく開くモニターテストを実施したところ、1mm程度伸びることはあったが、袋が裂けることはなかったことから、強度に問題があるとは言えなかった。
115	ガソリン携行缶	約2年前にガソリン携行缶を購入し、農機具用のガソリンを保管していたところ、携行缶の底からガソリンが漏れているのに気づいた。ガソリンが漏れた原因を調べてほしい。	ガソリンが漏れた箇所の内面に腐食は見られなかったが、変形に沿った亀裂が見られ、苦情同型品による内圧試験では苦情品と同様に変形したことから、苦情品は気化したガソリンによる内圧で変形し、気温変化による内圧の変化の繰り返しによって変形に沿って亀裂が生じ、ガソリンが漏れたものと考えられた。なお、上面の塗装につやがなく、退色が見られたことから、苦情品は日光にさらされる環境で保管された経緯があったものと考えられた。
116	水道水	水道水に黒い異物が混入していたため、水栓を交換したが、2カ月後に同様に黒い異物が出てきた。異物が何か調べてほしい。	苦情品中の異物を調べたところ、いずれもカビであると推察された。
117	井戸水	1年前に井戸を掘削し飲用水として使用していたが、半年ほど前から水に異物が混じり、家庭の各蛇口等に設けたフィルターが詰まるようになった。フィルターに詰まった異物が何か調べてほしい。	苦情品にみられた異物は二酸化マンガン等のマンガンの酸化物であると考えられた。井戸水に微量含まれているマンガンを、消毒等により配水管内で酸化され徐々に析出し、蓄積していたものが剥離し、黒い異物として蛇口まで流出することがある。今回の異物が同様の現象によるものかは判断できなかった。



SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
118	アルカリ乾電池 (単3形)	半年前にアルカリ乾電池(単3形)を購入し、エアコンのリモコンに入れて使用していた。数カ月ぶりにエアコンのリモコンを操作したところ動作せず、電池が液漏れしていた。電池に問題がないか調べてほしい。	苦情品を使用していたリモコンの構造から、短絡や逆装てんの可能性はないため、電池の液漏れの原因として、長期間エアコンのリモコンが待機状態で電流が常時流れ続けることで過放電となった可能性、または、新旧電池が混在したため過放電となった可能性が考えられた。
119	乾電池(単3形)	照明器具に付属のリモコンに電池を入れて使用していたところ液漏れし、この液を子どもがなめてしまった。液漏れした液に水銀が含まれていないか調べてほしい。	苦情品より漏れた液体には、検出できるほどの水銀は含まれていなかった。
120	紳士ズボン	綿100%の紳士ズボンを初めて着用したところ、両足の大腿部が赤くなりかゆくなった。再度着用したときも同様の症状が現れ、接触性皮膚炎と診断された。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品について、ホルムアルデヒドの含有量を測定したところ、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律施行規則」に定められている基準値を下回っていた。また、溶出成分を調べたところ、イソホロンジイソシアナート、フタル酸ジブチル等が微量検出された。これらはアレルギー性の皮膚反応を起こすおそれがあることから、原因となった可能性が考えられた。今回の症状がこれらの物質によるものかについては、医療機関でパッチテスト等により確認する必要がある。
121	紳士ズボン	購入した紳士ズボンを着用前に洗濯したところ、乾いたズボンから異臭がした。再度、洗濯したが臭いは取れなかった。異臭の原因を調べてほしい。	苦情同型品は洗濯前よりも洗濯後で、臭いが強く感じられるようになり、確認されたアルデヒド類、炭化水素類、1-オクテン等が、相談者が感じた異臭の原因となっていることが考えられた。また、化学物質により臭いの強さが異なるため、特定できなかった微量の成分等が臭いの一因となっている可能性も考えられた。
122	ワンピース	ワンピースを初めて着用したところ、表側のレース生地がベタベタして下の生地貼り付いた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品のフロック加工生地の裏面や断面を観察したところ、フロックプリント部の裏面側には短い繊維が接着されておらず、接着剤が露出していたことによって生地同士が貼り付いたと考えられた。これが原因でワンピースの外観を損ねることが予想された。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
123	婦人パンツ	婦人パンツの裏地が数回の着用で裂けてしまった。原因を調べてほしい。	苦情品の裏地に生じていた縫い目の滑脱は、サイズ表示に対して、使用者のサイズが適合していなかったなどの要因により、着用中に裏地が引っ張られ、縫い目に力が加わったために生じたものと考えられた。
124	婦人コート	婦人コートの肩パッドから黄色の粉が落ち、腕に付着する。黄色の粉が何か調べてほしい。	肩パッドから落ちてきたという粉は、肩パッド内部の中綿にも付着しており、FT-IR 分析の結果、共にポリウレタンを主材とするもので、加水分解により劣化していると考えられた。ポリウレタンは、吸湿により加水分解による経年劣化が起こり、低分子化することが知られている。
125	婦人用ダウンジャケット	婦人用ダウンジャケットから羽毛が吹き出し衣服に付着する。羽毛が吹き出しやすいか調べてほしい。	苦情品は昨年購入・使用されていたもので、新品の苦情同型品が入手できなかったため、新品時の羽毛の吹き出しやすさを確認することはできなかった。
126	子ども下着	ドラム式洗濯乾燥機で洗濯した子ども下着に焦げたようなしみができた。しみが熱によるものか調べてほしい。	苦情品のしみは、生地素材やドラム式洗濯乾燥機に起因するものではなく、生地の一部に付着した水溶性の部分的な汚染で、何らかの取扱上の要因により生じたものと考えられた。
127	紳士下着	オープンしたばかりのコインランドリーで紳士下着等の衣類を洗濯したら、青いしみがついた。銅石けんが生成されたことによるしみかどうか調べてほしい。	しみの部分は、希釈した酢酸で取り除くことができず、また、元素分析の結果、銅は検出されなかったことから、銅石けんではないと考えられた。なお、しみの部分からは、主にカルシウム、チタン、ナトリウム、アルミニウム、ケイ素、硫黄が検出された。
128	紳士下着	屋根のないバルコニーに干していた紳士下着が部分的に焦げた。焦げた原因を調べてほしい。	苦情品の焦げ跡が部分的でゴム部分と本体の両方に及んでいることから、焦げは繊維側に由来するのではなく外的要因によるものと考えられた。また、相談者がバルコニーに鏡を設置していたことから、太陽光による収れん試験を行った。その結果、焦げが生じ、その広がり方が苦情品にあった焦げ跡とよく似ていたことから、焦げた原因は色物の洗濯物に凹面鏡による収れん光が当たるといった偶然によるものと推察された。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
129	紳士下着	<p>長袖の紳士下着を数回着用して洗濯したところ、着丈や袖丈が伸びてしまった。商品に問題がないか調べてほしい。</p>	<p>苦情品は4枚とも、丈方向・袖の長さ方向の伸びが比較的大きいものの、特定の箇所や、特定の方向ではなく、全体的に伸びていた。</p> <p>全体的に伸びていた原因としては、洗濯や乾燥、着用時に大きな力が加わった可能性等が考えられるが、詳細な使用状況が不明なこと、また、苦情同型品が現在販売されておらず、耐洗濯性試験等が実施できなかったことから、苦情品が伸びた原因や製品に問題があったかを特定することはできなかった。</p>
130	紳士下着	<p>約2年前に購入した綿100%の長袖紳士下着を着用したところ、上半身が赤くなり、かゆみの症状が現れた。普段着用している綿の下着はそのようにはならない。商品の組成表示が適正かどうか調べてほしい。</p>	<p>苦情品の身生地部分及び襟のリブ部分は綿100%で、袖口のリブ部分は綿75.2%、ポリエステル24.8%とポリエステルが含まれていたが、家庭用品品質表示法上、組成表示として「綿100%」と表示できるものであった。</p>
131	子ども用パジャマ	<p>購入した子ども用パジャマから刺激臭がし、5回洗濯しても臭いが消えなかった。商品に問題がないか調べてほしい。</p>	<p>確認されたヘキサナール、ノナナール、ベンゼン、アセトン等が、相談者が感じた異臭の原因と考えられたが、特定できなかった成分等もあり、それらが、臭いに関与している可能性も考えられた。製品に、不快と感じ、洗濯を繰り返しても残る臭いがあることは問題であると考えられた。</p>
132	靴下	<p>新しい靴下を着用した後に入浴したところ両足が赤くなり、就寝後湿疹がでてきた。皮膚障害となる物質が含まれていないか調べてほしい。</p>	<p>苦情品から溶出された成分を調べたところ、軽度の皮膚刺激性があるとされるテレフタル酸ジメチルや刺激性接触皮膚炎を起こすことがある長鎖炭化水素と考えられる成分が検出された。なお、検出された物質が相談者の症状の原因となり得たかの確認には、皮膚科専門医による診断が必要である。</p>
133	タイツ	<p>タイツの黒色が白いカーペット等に色落ちした。商品に問題がないか調べてほしい。</p>	<p>苦情品4足のうち黒色の3足は、乾摩擦での堅ろう度が1-2級~2-3級と低く、着用中などに何かに擦られた場合には、色が落ちて他を汚染する可能性があった。</p>

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
134	婦人靴	約2年前に購入した婦人靴を履いて階段を下りたところ、高さ約5cmのヒールが取れ、靴底に残った釘が右足のかかとに刺さって負傷した。ヒールの取り付け強度に問題がないか調べてほしい。	苦情品のヒールを固定する釘は、ヒールが取れたときには5本中少なくとも2本の釘が何らかの原因で既に折れており、破断面観察から疲労破断が起き取り付け強度が低下してヒールが取れたと推測された。苦情品と苦情同型品のヒールを固定する釘は、参考品と本数は同じであったが直径の細い釘であり、また接着剤が使用されていない、または少なかった、あるいは適していなかった可能性がある。参考品と比較して苦情品はヒールの取り付け強度が弱かった。
135	婦人靴	購入して2回しか履いていない婦人靴のかかとの革が、歩行時に地面に当たり擦れる。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、高さの低いアウトソールが靴底の外周より内側にあることや、かかと部分に柔らかい材質が使用されていることから、歩き方や路面の状態などによっては、靴底の外周部分が路面に接地しやすい形状と考えられた。
136	運動靴	購入した運動靴を初めて履いた日に、仕事場の水濡れした床で滑った。所有している他の靴は、床が濡れていても滑らない。運動靴の靴底の滑りに問題ないか調べてほしい。	苦情品は参考品（相談者が所有している他の靴の同型品）と比較すると、濡れた路面では滑りやすいと言える。靴底の硬さは苦情品と参考品で大きな差がなかったことから、滑りにくさに差が生じた要因としては、靴底の形状の違いが考えられた。
137	運動靴	運動靴を初めて履いた日に両足の甲に湿疹が現れ、2週間ほど経って再度履いたところ両足の甲に水ぶくれができた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品及び苦情同型品のベロ部分の溶出成分中には、接着剤やゴムの可塑剤や加工剤の成分が検出された。そのうち 2,6-ジ- <u>tert</u> -ブチル-4-クレゾール、フタル酸エステル類、2-(メチルチオ)ベンゾチアゾール、フタル酸モノ-2-エチルヘキシルは刺激性あるいはアレルギー性の接触皮膚炎を引き起こすおそれがあるとされる成分であり、相談者の症状にはこれらが関与している可能性が考えられた。なお、アレルギー性接触皮膚炎が疑われる場合、その原因物質を特定するためには、皮膚科専門医によるパッチテストを受ける必要がある。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
138	運動靴	運動靴を履いているうちに、両方の靴のかかとの内側に突起が現れ、それが当たって靴ずれのような症状を起こした。突起が現れた原因を調べてほしい。	苦情品は左右ともに、突起が確認された位置の月型芯の腰裏側に異物が付着しており、この異物が、突起として現れたものであった。また、苦情品は突起の位置以外にも異物が広範囲に付着していたのに対し、苦情同型品には異物の付着はなかったことから、苦情品の異物は使用過程で腰裏の隙間から混入し、月型芯に付着したものと推察された。
139	運動靴	新品の運動靴を履き、娘（幼児）を抱いて雨に濡れた階段を下りようとしたときに、靴が滑ったため娘と落下し、娘が額を7針縫うけがをした。運動靴の滑りに問題がないか調べてほしい。	苦情品は、乾燥時と比較して湿潤時には滑りやすくなることが推察された。苦情品の湿潤時の動摩擦係数は著しく低い値ではなかったものの、同価格帯の参考品と比較すると動摩擦係数が低い傾向にあった。参考品3銘柄中2銘柄には、タグや外箱に、滑りに関する注意表示があったが、苦情同型品のタグには滑りに関する注意表示がなかった。
140	婦人サンダル	婦人サンダルを素足で履いたところ、サンダルのベルトが当たる部分と足の裏全体に赤い湿疹ができた。湿疹が治ってから再度履いてみたが、同じところに湿疹ができた。皮膚障害となる物質が含まれていないか調べてほしい。	苦情品からは、皮膚刺激性もしくはアレルギー性の接触皮膚炎を引き起こすおそれのある物質が複数検出され、これらの成分のいずれかが湿疹を引き起こした可能性が考えられた。
141	かばん	かばんを10回程度使用したところ、かばんの収納口を止めるかぶせ部分を固定しているところが破れた。素材の牛革の表示が疑わしいので表示に問題がないか調べてほしい。	皮革の判別を行ったところ、苦情品は牛の床革を使用したものであり、家庭用品品質表示法・雑貨工業品品質表示規程により「床革」と表示する必要があるところ、商品にはそのような表示は確認できなかったことから家庭用品品質表示法上問題となるおそれがあると考えられた。また、苦情品を「牛革最高級」、「牛革素材」、「高級牛革」などの広告表示をし、販売していることは、景品表示法上問題となるおそれがあると考えられた。
142	かばん	通信販売で購入したかばんがビニール臭く、手触りが牛革とは思えない。素材の表示が適正か調べてほしい。	苦情品の本体部分の素材は、苦情品の下げ札や購入先であるネットショッピングサイトの表示通り、牛革であると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
143	アクセサリ (カチューシャ)	3歳の女儿がカチューシャを使っていたところ、先端が耳の中に入ってしまった、刺さって出血した。商品に問題がないか調べてほしい。	幼児の頭部マネキンを用いた再現テストの結果、苦情品、参考品8銘柄のいずれも、頭の前から装着しようとした時に、先端が耳の穴より細い場合には耳の穴に入る可能性も考えられたが、苦情品の先端部は角が丸くなっており、バリやとがった部分は見当たらず、同じ価格で販売されている6銘柄と比較しても先端部の太さに大きな違いはなかったことから、苦情品が特に刺さりやすい商品とは言えなかった。
144	折りたたみ傘	2年前に購入した折りたたみ傘のプラスチック製の親骨が曲がっていたため、直そうと触ったところ、とげが刺さったように指が腫れた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の先親骨はガラス繊維強化プラスチック製と推定された。表面加工等が不十分で、多くのガラス繊維が露出している状態であったため、抜けたガラス繊維が刺さる可能性があり、問題があると考えられた。なお、苦情品のタグには傘骨に触れないよう注意表示がなされていたが、使用時等に先親骨や傘布に触れてしまうことがあると考えられた。
145	杖 (4脚杖)	購入後1カ月も経たないアルミ製4脚杖を屋内で使用中に転倒し、打撲した。転倒後、4脚のうち1本が曲がっていた。杖の強度に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品について、IS011334-4(片腕操作歩行補助具:3つ以上の脚を持つ歩行用ステッキ)に準じ、安定性の調査及び相談者の体重を考慮して強度等を調べたが、問題はみられなかった。
146	アイマスク	アイマスクを2、3日使用したところ、顔や耳の裏にかぶれができた。皮膚障害の原因となる可能性がある物質が含まれていないか調べてほしい。	苦情同型品から、ホルムアルデヒドやBHT等いくつかの皮膚刺激性、皮膚感作性のある物質が検出されたことから、苦情品にも同様の物質が含まれていた可能性が考えられた。苦情品から検出された物質に対してアレルギーの原因であったかを確認するには、皮膚科専門医等による相談者のアレルギーテストが必要である。
147	虫よけクロス	虫よけ効果をうたった布を肩にかけて草むしりをしていたところ、首、顔、足など数カ所を蚊に刺された。布に表示されているペルメトリンが含まれているか調べてほしい。	苦情品はペルメトリンを含有していた。また、商品には虫よけや虫刺され防止の効果を完全に保証するものではない旨の表示がみられた。一方、成分の揮散は周囲の環境条件等により左右され、苦情品による効果は限定的であると考えられたため、効果を得るために必要な条件や使用方法などを具体的に示す必要があると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
148	漢方薬	海外旅行で購入してきた漢方薬を飲んで、意識障害を起こし病院に救急搬送され、低血糖症を発症していた。血糖値を下げるグリベンクラミドが含まれていないか調べてほしい。	苦情品の表示には、グリベンクラミドが含まれている旨の表示は見られなかったが、苦情品のカプセルの内容物を調べたところ、経口血糖降下剤の有効成分であるスルホニル尿素系のグリベンクラミドが、1 g 当たり約 9 mg 含有していた。
149	漢方クリーム	顔用の漢方クリームを使用したところ、肌の状態が改善されたが、使用をやめたところ、元に戻った。ステロイドが含まれていないか調べてほしい。	苦情品の顔用と体用の漢方クリームを調べたところ、顔用には 0.057%、体用には 0.054%のプロピオン酸クロベタゾールが含有されていた。
150	漢方クリーム	漢方クリームにステロイドが含有していないとうたっているが、効果がありすぎる。ステロイドが含まれていないか調べてほしい。	苦情品の漢方クリームを調べたところ、「No. 1 顔(上半身)」と書かれたシールが貼られていた苦情品には 0.055%のプロピオン酸クロベタゾールが含有し、「No. 2 身体(下半身)」と書かれたシールが貼られていた苦情品には 0.058%のプロピオン酸クロベタゾールが含有していた。
151	漢方クリーム	ステロイドが含有されていないという漢方クリームを使用すると良くなり、やめると症状がぶり返す。ステロイドが含まれていないか調べてほしい。	苦情品の漢方クリームを調べたところ、0.050 %のプロピオン酸クロベタゾールを含有していた。
152	洗眼薬	洗眼薬で目を洗うようになって一週間経ったところ、まつ毛が切れている事に気づいた。まつ毛には普段からマスカラとまつ毛をカールする器具を使用していたが、これまではそのようなことはなかった。洗眼薬に問題がないか調べてほしい。	苦情品や苦情同型品、参考として用いた生理食塩水で処理した毛髪の表面にはわずかに損傷がみられたが、処理前後で損傷の度合いに差はなく、苦情品に問題があるとはいえなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
153	使い捨てコンタクトレンズ	使い捨てコンタクトレンズを装用する前に、レンズの表裏を確認すると、表面に白い粒が見える。白い粒が何か調べてほしい。	苦情品からランダムに5枚を選んで観察したところ、白い粒は確認できなかった。一方、石けんで十分に洗った手で取り出したレンズの表面を観察したところ、5枚すべてで白い粒のようなものを複数確認することができた。相談者が使用時に見たという白い粒は、開封前からレンズに付着していたものではなく、手で触れることにより手洗いでも落ちきらなかった皮脂やほこり等が付着したものである可能性が高いと考えられた。
154	ストーマ袋	ストーマ袋の閉鎖具が、本体から外れてしまい、短期間しか使用できなかった。商品の閉鎖具部分に問題がないか調べてほしい。	閉鎖部の面ファスナーが所定の位置にあるものについては、排出口等から漏れたり、面ファスナーが剥れたり、ずれたりすることは確認できなかった。今回のテストでは、面ファスナーが簡単に剥れることはなく、苦情品には無理に剥いた際にみられるフィルムの変形等もみられなかったことから、苦情品は面ファスナーの接着が十分でなかった可能性が考えられた。
155	化粧品のお試しセット	化粧品のお試しセットを使用したところ、洗顔用のタオルが洗濯で色落ちした。化粧品に脱色する成分が含まれていないか調べてほしい。	タオルが変色した原因は化粧品のお試しセットのうちのひとつによるものと考えられ、調べた限りでは過酸化ベンゾイルが関与しているものと考えられた。
156	ヘアスプレー	ヘアスプレーを使用すると床が滑り、表示通りに掃除をしても変わらなかった。滑る原因を調べてほしい。	苦情品が滑る原因は、成分にジメチコンというシリコーンポリマーが含まれていたためであった。なお、滑り性テストの結果から、スプレー後に洗剤で掃除を行えば、シリコーンポリマーによる滑りは取り除くことができるものと考えられた。
157	染毛剤	同じ美容院で3カ月おきに4回毛を染めた。4回目の染毛後、髪が抜けたり切れたりした。髪が抜けた直前に使用した染毛剤で毛髪の強度が低下するか調べてほしい。	相談者より提供された毛髪は、表面に損傷を受けていたが、その多くは毛根から抜けたとみられるものであった。なお、苦情同型品によるテスト用毛髪の染毛試験の結果、毛髪表面が損傷を受けることはあったものの、染毛を3回繰り返したり、染毛時間を60分と長くした場合でも、染毛の前後で引張強度に差はみられなかった。



SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
158	染毛料	パウダータイプのヘナ配合の染毛料を使用したところ染まらなかった。染毛性能を調べてほしい。	今回のテスト結果では、相談者が苦情品以前に使用していた参考品で染毛した場合よりも、苦情品で2時間染毛した場合(相談者の使用条件)の方が、染毛性能の評価が高かった。また、染色がもの足りない場合に推奨されている繰り返し使用をするとよく染まり、満足度が高まるものと考えられた。
159	頭皮料	頭皮料の専用ボトルの栓が閉めても回ってしまう状態で、そのまま使用したところ、栓が外れて中に入っていた頭皮料が全て頭にかかり、流れて目に入ったため炎症を起こした。容器に問題がないか調べてほしい。	苦情品と苦情同型品を使ったモニターテストでは、ボトルのねじ山を乗り越えるほどキャップを閉め込んだモニターはなく、通常閉める力では使用時にキャップが外れそうになることもなかった。しかし、閉め方によってはスポイトキャップが外れてしまうことがあった。
160	化粧石けん	3、4年前にもらった化粧石けんを風呂場に放置していたが、自主回収品と思い事業者に送付したところ、成分からも回収品でないと言われた。回収品の成分が含まれていないか調べてほしい。	苦情品について、自主回収品の有効成分として配合されているグリチルリチン酸ジカリウムが含まれているかを調べたところ、当該成分は検出されなかった。以上より、苦情品は、自主回収品ではない可能性が高いと考えられた。
161	ロールブラシ	初めて使用したロールブラシに髪の毛が絡まり取れなくなり、大量の髪の毛が抜けた。ロールブラシに問題がないか調べてほしい。	苦情品に毛髪を巻きつけてとがすと、巻きつけずにとがす場合よりも毛髪が絡まりやすく、毛髪に大きな負荷がかかり、また、毛束が重なるように巻きつけた場合には、ブラシが途中で止まってしまい、うまくとがせなかった。苦情同型品のパッケージにはブラシに髪を巻きつけて使用しないよう注意書きがあった。
162	ヘアドライヤー	約2年半前に購入したヘアドライヤーを使用中に、本体とコードの接続部分から火花が散って断線した。その際に右手首をやけどした。原因を調べてほしい。	苦情品はブッシング近くの電源コードにねじれが見られたことから、ねじれ、屈曲等が繰り返されたため、電源コードの導線が疲労断線・スパークして発熱し、更に導線間が短絡・スパークして断線に至ったものと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
163	美顔器	携帯用の美顔器のタンクに入れた化粧水が漏れたため、商品を交換してもらったが、同様に漏れた。漏れた原因を調べてほしい。	苦情品から化粧水が漏れた原因は、振動板付近の部品のはめ合わせに隙間があるために起きたものと考えられた。部品の隙間が初期状態で生じていたか、1サイクルの稼動で生じたかは、不明であるが、水漏れが生じる構造には問題があると考えられた。
164	脱毛器	初めて使用した脱毛器で、腕の皮膚が挟み込まれ、内出血した。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品を、豚の皮膚を用いて伸ばさずに使用してみたところ、隙間に皮膚が巻き込まれることがあった。ヒトは肘などの関節部にゆるんだ皮膚もあるが、苦情品の注意表示に、ゆるんだ皮膚に使用すると皮膚が巻き込まれる危険性がある旨の注意表示はなかった。
165	殺虫剤	かなり以前に購入したエアゾール式殺虫剤を使ったところ、噴射口側ではない部分からも噴射があり、顔にかかった。正常に噴射されなかった原因を調べてほしい。	苦情品が噴射口以外から噴射された原因は、アクチュエーターの割れから噴射されたためであった。なお、割れの発生は外力が加わったことによるものと推察されたが、苦情品が十数年前のものであり、苦情同型品が入手できないことから、明確な原因の特定には至らなかった。
166	ムカデ駆除剤	ペルメトリンを有効成分とするムカデ駆除剤を10kg購入し、家の周りに散布したところ、翌日から薬剤臭がして息が苦しくなった。網戸を通して入ったと思われる家屋内の白い粉にペルメトリンが含まれているか調べてほしい。また、使用上の表示に問題がないか調べてほしい。	掃除機用紙パック内のごみからはペルメトリンが微量検出されたが、ペルメトリンは殺虫剤・防虫剤等に広く使用されていることから、苦情品由来とまでは確認できなかった。なお、苦情品は雑品扱いの害虫防除剤で、有効成分であるペルメトリンの人体への毒性は低いとされているものの、皮膚に付いたり、体調不良が生じた際の対処方法等の記載はみられなかった。
167	首にかけて使用するタイプの除菌用品	ウイルスを除菌、消臭するという首にかけて使用するタイプの除菌用品を購入し、1週間位使用したところ、急に臭いがきつくなり、目が痛くなって鼻の中がツンとし、部屋中が臭くなった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品からは塩素系物質が放散されており、それを置いた部屋では、カルキ臭、刺激臭が感じられ、人によっては目や鼻に何らかの刺激を感じる場合があった。苦情品は、首から下げて使用する商品で、身体に近いところで使用した場合には、さらに臭いや目や鼻への刺激を強く感じる可能性があると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
168	首にかけて使用するタイプの除菌用品	二酸化塩素による除菌効果を用いた首にかけて使用する除菌商品で、子どもの大腿部が赤くただれた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は開放する穴の数により、消費者自身で成分の放散を調節するよう表示されていたが、2つ半のみを開放した場合でも、全てを開放したときと同程度の放散速度となることがあった。放散される成分による皮膚への刺激性は「中等度の刺激性」と評価されるもので、肌に密接した状態で使用した場合には、発赤や化学熱傷等の皮膚障害のおそれがあると考えられた。
169	携帯用蚊取り線香入れ	携帯用蚊取り線香入れをズボンのベルトにつり下げて使用していたところ、線香を挟むネットが焦げ、後に触れてみると破れた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は新たに購入した苦情同型品、参考品と比較して蚊取り線香を固定するネットの耐熱温度が低く、使用時に蚊取り線香の熱でネットが焦げ、指で押すと破れる状況が再現した。なお、苦情同型品はネットの網目の大きさや形状、太さなどが変更されており、使用時にネットが焦げたり使用後に押しても破れることはなかった。
170	眼鏡クリーナー	眼鏡クリーナーを数回使用したところ、眼鏡のレンズにキラキラした異物が付着した。原因を調べてほしい。	新品の同型レンズに苦情品を使用しても、提供された眼鏡のレンズのような現象は再現されず、また提供された眼鏡のレンズに苦情品を噴射しても顕著な変化はみられなかったことから、苦情品との因果関係も明らかではなく、レンズがキラキラするようになった原因は不明であった。
171	尿吸収パッド	尿吸収パッドを購入して使用したところ、吸収力が弱く漏れてしまう。商品に問題がないか調べてほしい。	複数の条件で吸水性を調べたところ、2 銘柄の苦情品は条件によって吸収できる量に違いがみられたが、少量の尿漏れ及び寝た状態での尿漏れに対し、表示通りの吸水性を確認できず、就寝時に使用することも想定された商品であることも踏まえると、表示のみならず製品に問題があると考えられた。
172	花粉防御用眼鏡	小学生の子どもが花粉防御用眼鏡をかけて登校していたところ、転んで眼鏡の縁でまぶたの上を切り、12 針縫うけがをした。花粉防御用眼鏡に鋭利なところはなにか調べてほしい。	苦情品はフレームの張り出し部（縁）に鋭利な箇所は見当たらず、仕上げに問題があるとは言えなかった。今回の事故は大きな衝撃を受けた際に目の周りの皮膚がフレームの張り出しと骨の間に強い力で挟まれたために起きたものと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
173	湯たんぽカバー	湯たんぽのカバーのひもがほどけて、就寝中に湯たんぽが飛び出したため、右足首の上部に低温やけどを負った。湯たんぽのカバーのひもがほどけやすいか調べてほしい。	苦情品のひもが解けた原因は、ひもの結び目が外部から容易に触れる位置にあり、就寝時に結び目付近が外部から接触、摩擦されたことで、緩みが生じたためであると推察された。なお、苦情品のひもは、参考品と比較しても特に解けやすいものではなかった。
174	手首サポーター	10 回程度しか使用していないにもかかわらず、手首サポーターの親指付け根の接着部分が切れた。強度に問題ないか調べてほしい。	苦情品の親指を通す部分の切れてしまった断面は、切れ目から引き裂いた場合の特徴に似ていたが、苦情同型品を用いたモニターテストや引張試験の結果、接合部分の強度には問題はみられず、苦情品の接合部分が切れてしまった原因の特定には至らなかった。
175	首用冷却ベルト	首用冷却ベルトの付属の保冷剤が破れ、中身が首に付着したため皮膚炎を発症した。保冷剤に皮膚炎の原因となる物質が使用されていないか調べてほしい。	苦情品の保冷剤パッケージには強度に問題があったと考えられ、相談者は、保冷剤パッケージから漏れ出した内部の液体に含有されていた防腐剤(5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン及び2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン)により、アレルギー性の接触皮膚炎を起こした可能性が考えられた。相談者の苦情品に対するアレルギーの有無を確認するには、皮膚科専門医等によるアレルギーテストが必要である。
176	冷却スプレー	冷却スプレーを濡れたタオルに噴霧して、襟足とひざ下に2日間でおよそ2本半使用したところやけど状になった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品を濡らしたタオルに噴射すると短時間ではあるが0℃以下となり、この状態のタオルを、時間を置かず繰り返して使用したことで凍傷になった可能性が考えられた。繰り返し高頻度を使用することが、連続して使用するのと同程度の危険性があることの注意表示はなかった。
177	ノートパソコン	ノートパソコンの電源コネクタが破損し、ACアダプターが正しく差し込めなくなった。原因を調べてほしい。	苦情品の電源ジャックは固定するガイドの変形により内部で脱落しており、ACアダプターの電源プラグが挿入できない状態であった。ガイドが変形したのは、電源プラグの抜き差しするとき、斜めに挿入したことや電源プラグを上下左右に動かすなどによって、電源ジャックを固定しているガイドに繰り返し力が加わったことが原因と考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
178	ノートパソコン	約2カ月前に購入したノートパソコンのディスクドライブが開かなくなったので修理依頼したところ、ディスクドライブに付着していた液体が原因と判断されたが、心当たりがない。ディスクドライブが開かなくなった原因を調べてほしい。	苦情品の状況から、ディスクドライブが開かなくなった原因は、ディスクドライブが開いた状態のときに何らかの液体状のものが付着し、フラットケーブルとカバーの間で乾燥して固着した状態になったためと考えられた。なお、付着物は多糖類である可能性が高かったこととパソコン本体内部に由来するものではないと考えられたことから、製造時に付着したものとは考えにくい。
179	モバイルルーター	車内の助手席に置いて使用していたモバイルルーターが突然発火し、慌てて火を消そうとしたためやけどを負い、車のシートも焦げた。発火した原因を調べてほしい。	苦情品はバッテリーの焼損が著しいことから、バッテリーが異常発熱して焼損したのと考えられたが、既に事業者による調査が行われており事故時の状態が保存されていなかったことに加え、事故時に焼損した充電用のインバーター器具が廃棄されていることなど事故状況が再現できなかったことから、異常発熱の原因を特定するまでには至らなかった。
180	タブレット端末用のケーブル	タブレット端末の充電のため、ACアダプターとケーブルを使用した。充電終了後、タブレット端末を外し、ACアダプターとケーブルをコンセントにつないだままにしていたところ、タブレット端末に接続するためのコネクタが発熱して焦げた。原因を調べてほしい。	苦情品はコネクタ内部の電子部品に何らかの原因で過剰な電流が流れたことによって異常発熱し、外装部（樹脂）の変形・変色に至った可能性が考えられた。しかし、苦情品を用いた再現テストの結果、現象は再現せず、正常に動作したため、発熱の原因の特定には至らなかった。
181	タブレット端末用のケーブル	タブレット端末用のケーブルの端末に接続する側の端子の一部が破損したので、新たに購入して使用していたところ、再度同じ箇所が破損した。破損した原因を調べてほしい。	タブレット端末の電源コード端子と接続する箇所には構造上の問題は見当たらず、新品の苦情同型品コードによる繰り返し差し込み・取り外しテストでも、苦情品コードのような破損は生じなかった。また、破損面の観察においても破損の経緯が不明なことから、電源コードの端子の先端部が破損した原因を特定することができなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
182	インクカートリッジ	インクカートリッジ（黒色）の大容量サイズを使用したところ、標準サイズを使用していたときと違いが感じられなかった。それぞれのインクの重量を調べてほしい。	印刷ができなくなるまでのインク消費重量を苦情同型品で調べた結果、大容量サイズが最も大きく、次いでプリンター付属の標準サイズ、標準サイズの順であった。相談者は、プリンター付属の標準サイズから大容量サイズに交換を行ったことから、実感を得にくかったものと考えられた。
183	携帯型の充電器	布団の上で、携帯型の充電器を充電しながら就寝した。朝、目を覚ますと充電器から炎が上がっていたため、水を掛けて消火したが、布団が焦げた。携帯型の充電器が発火した原因を調べてほしい。	苦情品は焼損して通電テストができない状態であったこと、また、苦情品と同じ仕様の商品を手に入できなかったことから、発火原因を特定することはできなかった。なお、同じ型式であるが、電気回路が苦情品と異なる苦情同型品は充電テスト及び過充電・過放電及び外部短絡のテストを行ったが問題はなかった。
184	スマートフォン	スマートフォンを充電していたところ、スマートフォンと充電器の接続部分が焦げた。原因を調べてほしい。	苦情品は、本体及び充電器の機能が正常であったことから、充電の際、充電端子の接続部がショートに近い状態となって発熱し、この熱により周囲の損傷に至ったものと考えられる。その原因として、充電の際の充電端子の破損や異物の混入が一因である可能性が考えられ、これらの状態を想定したテストでも充電端子接続部の温度が上昇することが確認できた。しかし、苦情同型品による挿抜テストで充電端子が破損することはなく、苦情品の分解調査で異物の痕跡が確認できなかったことから原因の特定はできなかった。
185	スマートフォン	スマートフォンを充電していたところ、本体が熱くなっていたため、充電ケーブルを外してコネクタ部を見ると、充電端子部が焦げていた。充電端子部を触った際に指先をやけどした。焦げた原因を調べてほしい。	苦情品は、充電の際、スマートフォン本体の充電端子の接続部がショートに近い状態となって発熱し、この熱により損傷に至ったものと考えられる。その原因として、異物の混入や充電端子そのものの異常が一因である可能性が考えられ、異物の混入を想定したテストや、苦情品本体の充電端子の通電テストで充電端子の温度が上昇する様子が確認できた。しかし、苦情品の充電端子部に明確な異物の痕跡が確認できず、苦情品本体の充電端子の異常についても、事故以前に生じていたのか、事故によって生じたのか判断できないことから、原因の特定はできなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
186	スマートフォン	購入して1年以内のスマートフォンの電源ボタン近くにまっすぐな亀裂が入っていた。強度に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品に対して電源ボタンを繰り返し押す試験や電源ボタンを強く押す試験、熱衝撃試験を実施したが、外装フレームに亀裂は発生しなかったことから、通常の使用において強度に問題があるとは言えなかった。また、強い衝撃が外部から加わった可能性を想定し落下試験も実施したが外装フレームに亀裂は発生しなかった。
187	スマートフォン	かばんの中からスマートフォンを取り出そうとしたところ、指をやけどした。スマートフォンは破損しており、電池パックも膨らんでいた。原因を調べてほしい。	苦情品の裏蓋や内部の変形方向などの状況から判断して、スマートフォンは外力により破損したものと考えられた。発熱の痕跡は電池以外見当たらないため、電池の熱が伝わった部位もしくは電池そのものに触れたことがやけどの原因ではないかと推測された。電池パックの膨張については、既に基板から取り外されて事故時の状態が保たれておらず原因を究明することはできなかった。
188	スマートフォン	昨年購入したスマートフォンの充電端子部が破損した。原因を調べてほしい。	苦情品の充電端子部(外部接続端子)が破損した原因は、プラグを斜めに挿入するなどによりプラグの外枠が当たったためであると考えられた。
189	スマートフォン	スマートフォンが熱くなり過ぎるので、スマートフォンの温度を計測してほしい。	苦情品は、ゲームアプリやテレビ電話の使用によって、内部回路のCPUなどへの負荷が増大したことによって発熱したものと考えられた。なお、現在のところ、スマートフォンの表面温度に関する基準はないが、苦情品の表面温度が50℃を超える様子が確認され、長時間触れるなどの条件によっては低温やけどに至る可能性も考えられた。
190	スマートフォン	約1年半前に購入したスマートフォンが高温になり、充電池が短時間で消耗して電源が入らなくなる。発熱の原因を調べてほしい。	苦情品は、事業者が調査を行った際に設定が初期化されたことによって、事故時の状況が保存されていなかったことに加え、携帯電話事業者が提供する通話及び通信サービスを使用しないという条件の下、待機状態やWi-Fiによるインターネット接続、Bluetooth通信によるデータの送受信時の温度測定を行ったが、高温になる現象を再現できなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
191	スマートフォン	ズボンのポケットに入れていたスマートフォンが発熱し、電池カバーが溶解し、やけどにより触れた手が赤くなった。発熱した原因を調べてほしい。	苦情品は、microSD カードの破損部と本体の焦げた部位が同じであることと、電池パックなど他に異常がみられないことから、挿し込みが不完全であったために破損した microSD カードが、挿入された状態で異常発熱した可能性が考えられた。しかし、破損した microSD カードを挿入した苦情品や苦情同型品のテストで異常発熱が再現しないことから、原因を特定することはできなかった。
192	スマートフォン	9 カ月前に購入したスマートフォンを充電していたところ、本体と AC アダプターの接続部分が焼けて溶け、置いていた畳が焦げた。原因を調べてほしい。	苦情品の本体と充電器の接続部分が焼けて溶けた原因は、本体側の充電端子内の接点端子が何らかの原因で浮き上がって、充電器側の端子を接続した際に奥へ押し込まれたためシェルと接触し、ショートに近い状態になって発熱したことによるものと推測された。
193	スマートフォン	約 1 年前に購入したスマートフォンの電池の消耗が早く、すぐに電池切れになる。電池の消耗時間に問題がないか調べてほしい。	携帯電話事業者が提供する通話及び通信サービスを使用しないという条件のもと、苦情品及び苦情同型品を用いて、スリープ状態、テレビ (ワンセグ) 視聴、Wi-Fi 接続、Bluetooth 接続を行ったが、今回のテストでは、苦情品が短時間で電池パックが消耗する様子は確認できなかった。
194	携帯電話の充電器	4、5 年前に購入した携帯電話用充電器の電源コードの被覆が 3 カ所剥がれ、中の線がむき出しになった。危険なので原因を調べてほしい。	苦情品は、苦情同型品に比べて組成の割合や分子量に違いがあるため、これらの違いが、コードの被覆の剥がれ、割れに影響している可能性が考えられるが、使用環境や経年劣化の影響によっても、組成の割合や分子量が変わってくることが考えられるため、原因の特定には至らなかった。
195	携帯電話の充電器	半年から 1 年以内に購入した携帯電話用充電器の電源コードの被覆が膨張し、亀裂が入った。原因を調べてほしい。	苦情品の電源コードの被覆が膨潤した部分には、芯線との間に動物性脂質由来と推定される白い粘性物質が検出された。一方、膨潤していない箇所からは白い粘性物質が検出されないことから、この白い粘性物質を溶媒として被覆が膨潤した可能性が考えられるが、混入した経緯が製造時であるか使用時であるかを含めて不明であり、原因の特定には至らなかった。



SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
196	携帯電話の充電器	3年前に購入した携帯電話用充電器の差し込み口が破損して使用できなくなった。商品に問題がないか調べてほしい。	<p>苦情品について外観観察を行ったが、押しボタンの折れの起点や、その折れが進んでいった方向等についての痕跡は確認できなかった。このことから、折れが繰り返し荷重によって生じたのか、衝撃により生じたのか等の判定をすることができなかった。</p> <p>また、苦情同型品の代わりに参考品（苦情品の後継品）を用いて、変換アダプターにコネクタを繰り返し差し込み・取り外しテストを行ったところ、苦情品のような押しボタンの破損は生じなかった。</p> <p>以上、今回のテストからは、苦情品の押しボタンが折れた原因を特定することができなかった。</p>
197	スマートフォンの充電器	スマートフォンを充電して就寝した。翌朝、焦げ臭かったため調べると、充電器のスマートフォンとの接続部分に変形していた。原因を調べてほしい。	<p>苦情品は USB ケーブルのコネクタ内部において、1 番ピン(DC5V)とシェルがショートに近い状態であったため、充電の際、スマートフォンに接続したことにより、1 番ピンと 5 番ピン(GND(0V))がシェルを経由してショートに近い状態となって発熱したものと考えられた。なお、苦情品の USB ケーブルは、5 本の接点端子部に異物混入やショートしたような痕跡はみられず、焼損箇所がコネクタ内部の触れることのできない部位にあったことや、事故が苦情品の購入直後に発生していることなどから、製造時に不良があった可能性が考えられた。</p>
198	スマートフォンの AC アダプター	スマートフォンの AC アダプターのプラグをコンセントから抜くときに、プラグの刃が 1 本折れて、折れた先がコンセントの中に残ってしまった。商品に問題がないか調べてほしい。	<p>苦情品のプラグの刃の 1 つは、トラッキング防止のためと考えられる一部黒色の樹脂で覆われており、引き抜く際などに変形し、樹脂に覆われた金属部分に見られた溝を起点に延性破壊が生じ、さらに使用継続によって疲労亀裂が進行して破断に至ったものと考えられた。</p>
199	スマートフォンのケース	通信販売で購入したスマートフォンのケースが、牛革ではなく合成皮革に見える。素材の表示が適正か調べてほしい。	<p>苦情品の本体部分の素材は、外側は牛革であるが、内側は革ではないと考えられた。しかし、苦情品の購入先であるネットショッピングサイトには「本革」との記載はあるものの、本革を使用しているのは外側だけである旨の記述はみられなかった。</p>

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
200	スマートフォン防水ケース	スマートフォンの防水ケースを購入し、水中で使用したところ、水が浸入し、中に入れていたスマートフォンが故障した。水が浸入した原因を調べてほしい。	苦情品は、低温等で開けづらくなったときに力を入れて開けたために破れやチャック部の欠損が生じ、その欠損部分から浸水したものと推察された。なお、苦情同型品には、使い方や使用上の注意に関する記載がみられなかった。
201	携帯音楽プレーヤー	保証期間内に無償修理された携帯音楽プレーヤーの HOLD ボタンが再度故障した。HOLD ボタンの強度に問題がないか調べてほしい。	耐久テストの結果から、耐久性に問題があるとは言えなかった。ただし、HOLD ボタンを下方にスライドするときにはツメに負荷がかかる構造となっていたことから、力の入れ方が強かった場合は、ツメへの負荷が増して耐久性が低下する可能性も考えられた。なお、後継品では、苦情品と比べてツメの幅が広がっており、さらに HOLD ボタンの強度は上がっていた。
202	無線機	無線機を約4カ月間使用したところ、コネクタ部が破損したので交換した。交換した無線機が2回目の使用で、片方のイヤホンが聞こえなくなった。イヤホンが聞こえなくなった原因を調べてほしい。	今回の破損が2回目の使用で発生したこと、苦情同型品で抜き差しを繰り返したテストでは問題がなかったことから、苦情品の本体のコネクタについて、シェルのツメとハウジングのはめ合わせが不十分であったために、コネクタを抜き差しする際の力がハンダ接合部に加わって剥離した可能性が高いと考えられた。なお、スピーカーマイクのコネクタ端子に変形が見られたが、変形の原因については不明であった。
203	集音器	通信販売で購入した集音器が耳にきちんと入らず、雑音がする。また、音の調整をするつまみが小さいためつまめない。耳へのフィッティングやつまみの操作性について調べてほしい。	苦情同型品は、同じような形状の参考品の補聴器よりも、つまみが操作しやすいとの回答がわずかに多く、困難に感じた人は、ほとんどいなかった。しかし、苦情品及び苦情同型品の取扱説明書には、耳への装用方法についての記載がないため、購入しても正しい装用方法が分からない場合があると考えられた。
204	スピーカー	携帯型音楽プレーヤーを接続して使うスピーカーが、購入後3週間で音が出ず、液晶もつかない状態になった。原因を調べてほしい。	苦情品が動作しなくなった原因は、ACアダプター内のトランスがハンダ付け不良により断線し、通電しなくなったためと判明した。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
205	手袋（スノーボード用）	使い始めて1時間も経たないうちに、スノーボード用の手袋の親指の付け根が破れ使用できなくなった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は使用時に縫い目に引張力が加わったことによって合成皮革が切れ、親指の付け根部分が破れたと考えられた。苦情同型品が参考品 3 銘柄より親指の付け根部分が破れやすく、苦情品が初回の使用で破れていることを勘案すると、使用する材料の強度に問題がある可能性があった。
206	健康器具	健康器具を使用中、立位の状態で両足をそろえて左右に動かす運動を行っていたところ、器具につかえた感触があり、転倒した結果、両腕を骨折した。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は使用中に何らかの理由で本体とレールの固定が緩んだことにより、レールのはめ込み部分が本体からずれ、このずれによりローラーがレールの壁に接触したことで生じた摩擦により動きが急に重くなったことが転倒の原因である可能性が考えられた。しかし、苦情品の状態が事故時とは異なることに加え、モニターテストにおいて急に動きが重くなる現象が再現しなかったことから、原因の特定はできなかった。
207	健康器具	健康器具を使用中にバランスを崩し、後ろに転倒した結果、圧迫骨折した。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品に異常はみられず、苦情同型品との間に滑りやすさなどの違いはみられなかった。また、モニターテストにおいてもたわみの発生などの問題はみられなかったことから、今回の事故は初めての使用で相談者がバランスを崩し、転倒したことによるものと考えられた。
208	健康器具	初めて使用した健康器具のハンドル取り付け部の溶接が外れ、バランスを崩して胸を打撲した。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品が使用中に破断した原因は、ハンドルポストとハンドルの固定金具の溶接が不良（融合不良）であり、強度が確保できていなかったためと考えられる。
209	玩具	玩具で遊んでいた1歳半の男児がボタン電池を口に加えていた。玩具の電池ケースの蓋の構造に問題がないか調べてほしい。	苦情品の電池ケースの蓋が開きやすいか調べるために、ST-2012「4.26 電池」に基づくテストなどを行ったが、基準を満たしており、蓋の構造に問題はなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
210	半球型ゴム玩具	中表にひっくり返して机上に置くと、元に戻る反発力で飛び上がる半球型ゴム玩具を購入した。使用しようとひっくり返したところ、手の中で元に戻り、両手の中指を強打した。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品について外観観察やST基準「蓄積エネルギーをもつ発射体付玩具」を参考にしたテストを行ったが、苦情品は危険なバリや突起ではなく、最大運動エネルギー(0.2J)はST基準「最大運動エネルギーは0.5Jを超えてはならない。」を満たしており、商品に問題はなかった。
211	玩具のベルト	玩具のベルトで遊んでいた子どもが、ベルトに触れた指をなめたら苦味があった。商品に問題がないか調べてほしい。	未使用の苦情同型品は、おもちゃに関する食品衛生法に適合していた。一方、手指への移行を想定した試験で検出された主な成分(セバシン酸ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジル))の苦味との関係や、経口摂取による健康影響については不明であった。
212	ゲーム機	1カ月前に購入したゲーム機を使用していたところ、大きな音とともに炎が噴き出し、焦げた臭いがした。炎が噴き出した原因を調べてほしい。	苦情品の作動に異常はなく、また、内部に異常発熱の痕跡などもなく、炎は苦情品内部から発生したとは考えにくい。
213	発光するブレスレット	折り曲げると発光する玩具のブレスレットを子どもの手に巻こうとしたところ、スティックの中の液体が飛び散り、子どもの目に入って炎症を起こした。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品は90度以上に折り曲げた場合に内容液が飛び出すことがあり、苦情品の亀裂部分の割れたアンプルの形状や、亀裂の反対側にみられたシワといった特徴が似ていたことから、90度以上に曲げたために、内容液が飛び出したものと推察された。苦情品には、飛び出した液が人に触れないよう、人の居ないところに向けて曲げること、万が一にも飛び出すことのないよう、90度以上折り曲げないこと、などの注意表示はなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
214	ペットフード	深海鮫肝油を含むというペットフードを猫に3カ月ほど与えたところ、血液検査で肝臓の数値が悪くなった。品質に問題がないか調べてほしい。	「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律(ペットフード安全法)」の成分規格で定められているもののうち、添加物(エトキシキン、BHT、BHA)や重金属(カドミウム、鉛、ヒ素)、及び公益財団法人日本健康・栄養食品協会が「イコサペンタエン酸(EPA)含有精製魚油食品」や「ドコサヘキサエン酸(DHA)含有精製魚油食品」に設定している安全・衛生基準(酸価、過酸化物価、一般細菌数、大腸菌群)の分析を行った結果、いずれの基準も満たしており、調べた限りでは、苦情品の品質に問題はみられなかった。
215	ペットフード	3羽のインコにペットフードを与えたら、1時間以内に死んだ。ペットフードに問題がないか調べてほしい。	苦情品及び苦情同型品について、アセトンで抽出される成分を調べたところ、双方から2,4-ジ-tert-ブチルフェノール、フタル酸ジブチル等が微量検出された。これらの成分が鳥類に与える影響や、苦情品等が含有するに至った経緯等は不明であり、インコが死に至った原因の特定には至らなかった。
216	犬・猫用キャリーバッグ	犬猫用キャリーバッグを持ち歩いたところ取っ手が外れ、犬が入った本体が落下した。取っ手が外れた原因を調べてほしい。	取っ手が外れた原因は、取っ手の差し込み部の強度が、表示されている重量での使用に耐えられず、下方に変形して、本体から外れたものと考えられた。
217	水質改良剤	鑑賞魚を飼育している水槽の水質を改善しようと、水質改良剤を入れたところ、入れ始めてから3日間で多くの魚が死んだ。毒性の強いものか調べてほしい。	相談者が飼育していた魚の1つであるグッピーについて、相談者の使用方法に従い苦情品を添加して飼育したところ、96時間の飼育期間中における生存率は100%であり、急性的な毒性は認められなかった。
218	刈払機(草刈機)	2年前に購入した刈払機(草刈機)の両手ハンドルの右側が折れた。過去に2回両手ハンドルの左手が折れて修理している。ハンドルの強度に問題がないか調べてほしい。	苦情品の破断した右手のハンドルは、ハンドル固定具から圧力が偏って加わっている端部に繰り返し応力が作用して亀裂が発生し、その成長により最終的に破断に至ったと考えられるが、ハンドルの肉厚や硬さには、問題はみられなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
219	釣りざお	購入した釣りざおが1年以内に折れたので、新品と交換した。その釣りざおも1年で折れてしまった。折れた原因を調べてほしい。	苦情同型品は適合ライン、適合ルアーに近い参考品に比べ低い荷重で破損したが、苦情品の破損箇所と異なることから、過荷重による破損とは考えにくく、苦情品が破損に至った原因は不明であった。
220	簡易ガスライター	簡易ガスライターで火をつけたが消えないため、息を吹きかけ消した。3回使用したが、いずれも火が消えず、容器内のガスがなくなった。危険なので、簡易ガスライターの火が消えない原因を調べてほしい。	苦情品はガスが抜けていたため、残火の確認ができなかったほか、部品等にも特に異常がなく、消火しない原因を特定できなかった。なお、苦情同型品120個について、繰り返し点火試験を実施したところ、残火が1検体にみられたが、3回使用を繰り返すと再現しなくなり、消火しない原因を特定できなかった。
221	自動車	走行中に自動車から突然異音が生じて発煙し、オイルが吹き出し、エンジンが故障した。エンジンオイルを指定容量より多く入れたことが故障の原因か調べてほしい。	エンジンが故障した原因は、シリンダーのクランクピンが焼き付きを起こしてピストンとコンロッドが破壊されたためであり、エンジンオイルの量の過多とは関係ないものと考えられた。焼き付きを起こした要因としては、シリンダーヘッドやクランクケースの内部にスラッジが堆積し、その一部が剥がれていたことから、剥がれたスラッジがオイル流路に流入して詰まり、潤滑不良となったことが考えられた。
222	自動車	走行中にハブボルトが折損し右前輪タイヤが外れた。危険なのでハブボルトが折損した原因を調べてほしい。	5本のハブボルトのうち古い4本には、ハブ側のネジ山の最も付け根側のほぼ全周に亀裂が生じ、その亀裂が走行時の加減速等の力で徐々に進展し破断したのと考えられた。打ち替えられたと推察された新しい1本は一気に破断したのと考えられた。ハブボルトに亀裂を生じさせた力としては、過剰な締め付け等が考えられた。
223	自動車	前向きで駐車スペースに車両を入れていたときに、急発進し塀に衝突した。急発進した原因を調べてほしい。	運転席のフロアマットは純正品の上に、社外品のフロアマットがオルガン式(床に支点がある)のアクセルペダルに覆いかぶさる状態で重ねられていたが、現状の苦情品にはエンジン回転数の制御に問題はみられず、急発進した原因は不明であった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
224	軽自動車	軽自動車の後部座席にいた幼児が、左右の前席の間にもたれかかったところ、はね上げていた運転席のアームレストが下がり、運転席とアームレストとの可動部の隙間に右手中指が挟まり切断した。可動部の構造に問題がないか調べてほしい。	苦情品のアームレストの取り付け部品には、手指が入る隙間があり、アームレストを押し下げると強く挟まれることが確認された。また、参考品の 6 銘柄を調べたところ、3 銘柄の運転者席アームレストに、手指が入り、挟まれる可能性のある部位があった。
225	軽自動車	軽自動車を自宅の車庫に入れるため、ギアをバッグに入れてアクセルを踏んだところ、前進して壁に衝突した。原因を調べてほしい。	苦情品に問題はみられず、バックしようとして前進した原因は不明であった。
226	自動車のクラッチ	自動車を発進しようとしたところ、車の後ろからバリバリと大きな音がして走行不能になった。クラッチやフライホイールを交換したが直らず、ドライブシャフトを交換して動くようになった。クラッチやフライホイールの交換が必要な状態であるか調べてほしい。	クラッチディスクは摩耗しており、交換が必要な状態であったと考えられる。また、一般的に、クラッチディスクを交換する際には、クラッチカバーとリリースベアリングを同時に交換することから、クラッチディスク、クラッチカバーを同時に交換することは妥当であったと言える。ただし、フライホイールについては現状の状態から、交換が必要な状態ではないと考えられる。
227	自動車用油圧式ジャッキ	自動車用油圧式ジャッキで左前車輪のタイヤを交換しているときに自動車が下がり、自動車と地面の間にジャッキが挟まった。最大荷重 (1000kg) の表示に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品は表示されていた耐荷重の 1000kg を満たしていた。
228	カーナビゲーション用の DC アダプター	カーナビゲーション用の DC アダプターをシガーソケットに接続し初めて使用したところ、約 30 分後に破裂音がし、プラスチックのカバーが割れた。原因を調べてほしい。	苦情品は、何らかの原因で IC チップの出力が異常になり、入力側電圧が直接出力側コンデンサーにかかったため出力側の電解コンデンサーが破裂し、外装ケースが外れたものと考えられた。初めての使用で発生していることから、IC チップの出力が異常になった原因として製造段階で苦情品に問題があった可能性や苦情品を使用した車両に問題があった可能性が考えられるが、特定はできなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
229	自動車用ボディーカバー	自動車用のボディーカバーが約1カ月半の使用で裂けてきた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は約1カ月半の使用により裂けが発生したとのことであったが、屋外におよそ1カ月置いた場合に相当する紫外線を苦情同型品に照射して引っ張ったところ、表面の合成樹脂製のシートに裂けが発生した。この商品は、屋外で使用するものであり、苦情品のように1カ月程度の短期間で劣化するのには、耐候性が不十分で問題があると考えられた。
230	自転車	自転車で走行中、段差を越えようとしたときに前ホークが折損して、車輪が外れたために、倒れて打撲した。前ホークが折損した原因を調べてほしい。	破損状況より、苦情品は、ホークスリーブ（ベアリングの構成部品）圧入部に亀裂が生じてヘッドパイプのベアリングに大きなガタツキが発生し、走行中の制動時などに発生する前後方向の繰り返し荷重によってホークシステムに負荷がかかったために疲労破壊に至ったものと考えられたが、亀裂が入った原因の特定はできなかった。
231	自転車	購入した自転車で走行中、車道から歩道に乗り上げようと、右にハンドルを切ったところ、ハンドルが急に回転したため転倒し、親指など3カ所を骨折、脱臼した。商品に問題がないか調べてほしい。	直進走行の安定性に係る苦情品のヘッド角及びトレールは、苦情同型品や参考品と大差なく、また、自転車操縦安定性能試験でも問題はないと考えられた。
232	自転車	約8年前に購入した自転車に乗っていたところ、サドルを留めていたボルトが折れてサドルが外れたため転倒し骨折した。サドルを留めていたボルトが折れた原因を調べてほしい。	苦情品のサドルは調整ボルトが緩んだまま使用したことにより後ろ下がり状態となり、調整ボルトの側面が固定部品に押し付けられて、本来は調整ボルトに加わることのない曲げ力を繰り返し受けてねじの谷部に亀裂が発生し、それが徐々に進行し、疲労破断したものと考えられた。



SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
233	自転車	自転車で上り坂を走行中に、後車輪がロックし倒れそうになった。自転車を確認するとディレーラーハンガーが破損していた。破損した原因を調べてほしい。	苦情品のディレーラーハンガーが破損した原因は、何らかの原因でリアディレーラー付近に車体側へ押されるような力が加わったためにディレーラーハンガーが変形し、その後の走行の際にロー側に変速操作したため、リアディレーラーが後車輪のスポークに接触して巻き込まれたためと考えられた。また、粒界割れを含んだ破面が観察されたことから、破断部が脆弱であった可能性が推測された。なお、強度に関する公的基準がないことから、商品に問題があるかどうかの判断には至らなかった。
234	折りたたみ自転車	折りたたみ自転車で走行中、突然フレームが折れ、転倒、鼻骨を骨折し、歯も欠けた。フレームが折損した原因を調べてほしい。	苦情品のフレーム下側の破断面上に塗料が入り込んでいたこと、表面が滑らかな結晶粒が並んでいたことから、亀裂はフレームの製造工程で発生していたものと考えられ、苦情品はフレーム製造時に生じていた亀裂が走行時の荷重で進展し、破断したものと考えられた。また、苦情同型品のフレームが JIS の耐久試験で破損したことから、同型品に共通した問題である可能性がある。
235	電動アシスト自転車	電動アシスト自転車のサドルのコイルばねが折れたため交換してもらったところ、再度コイルばねが折れた。原因を調べてほしい。	コイルばねが折れた原因は、ペダルをこぐ際や走行時に繰り返し加わる使用者の体重が、コイルばねが 90 度近く曲げられた部位に集中することにより、徐々に亀裂が進展して破断に至ったためであると考えられた。
236	折りたたみ電動アシスト自転車	折りたたみ電動アシスト自転車で走行中、フレーム本体が真二つに折れ、負傷した。フレームが破損した原因を調べてほしい。	フレームが破損した原因は、パイプ材と相手材(折りたたみヒンジ)が溶接不良(融合不良)であったため、下側で亀裂が発生し、使用中の繰り返し荷重などで徐々に進展して疲労破壊したものと考えられた。なお、苦情品は自走機能を有しており、道路交通法上、自転車ではなく原動機付自転車に該当するものであるが、原動機付自転車としても、道路運送車両の保安基準を満たしていないため、公道を走行することができないものであった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
237	自転車用ヘルメット(子ども用)	約1カ月前に購入した自転車用ヘルメットのおごひもが損傷した。損傷した原因を調べてほしい。	苦情品は面ファスナーのフック面の一部が露出しやすいうえ、おごひもの織密度が低かったために、面ファスナーのフック面に引っかかりやすかったものと考えられた。このため、おごひもが繰り返しフック面に引っかかることにより、縁がほつれていったものと考えられた。
238	電動車いす	電動車いすで走行中に、歩道の段差にぶつかり、歩道に体が投げ出されて負傷した。同じ場所で再現してみたところ、キャストが破損した。キャストの強度に問題がないか調べてほしい。	JISを参考に行った走行耐久試験及びJISに準拠した耐衝撃性試験の結果、交換部品のキャストの強度に問題はみられなかった。また、キャストを分析した結果、苦情品と交換部品の間に材質や内部構造等の違いはみられなかった。これらのことから、苦情品のキャストの強度に問題があるとは考えられなかった。
239	電動キックスケーター	電動キックスケーターの後輪タイヤが破裂したため、新品のタイヤと交換したが、そのタイヤにも亀裂が入った。タイヤが破損した原因と耐久性について調べてほしい。	苦情品が破損した原因は、空気圧不足時に見られるショルダー部の摩耗や破損状態などから、空気圧不足のまま使用したことによるものと考えられるが、苦情同型品を使用したテストでは再現に至らず、原因は不明であった。また、苦情同型品のタイヤは、連続走行を行っても苦情品のような破損には至らなかった。なお、苦情品と苦情同型品のタイヤは、マークとトレッドパターンに相違があり同等のものであるか不明であった。
240	屋根材(住宅屋根用化粧スレート)	7年前に建てた住宅の屋根の点検を建築業者に依頼したところ、屋根材(住宅屋根用化粧スレート)が30枚割れていた。屋根材の強度を調べてほしい。	苦情品は、JISに基づく性能試験の結果、曲げ破壊荷重試験について、判定基準を満たしていないものが5検体中1検体存在した。ただし、7年間使用した後に屋根から取り外したものであるため、製造時点における強度がどの程度であったかについては判断できなかった。なお、新品の苦情同型品はJISに基づく性能試験の結果、強度等に問題なかった。
241	浴室ドア	10カ月前にリフォームした浴室の中折れドアが外れて倒れてきた際に、首を痛めた。原因を調べてほしい。	浴室ドアのヒンジの向きが誤った方向であった場合や非常ツマミを下げた場合などにドアが外れる可能性があることがわかったが、修理がなされて、事故時の苦情品のヒンジの向きが不明であることなどから、苦情品が外れた原因を特定することはできなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
242	洗面化粧台	洗面化粧台のシャワー混合水栓のシャワーホースのジョイント部品が破損し、床が水浸しになった。ジョイント部品が破損した原因を調べてほしい。	苦情品のカップラソケットは、水道水中の塩素などで劣化していた状態に外部から何らかの衝撃を受けて破断したものと推察された。なお、苦情品のカップラソケットに使われていたポリアセタール樹脂は、塩素溶存水道水や塩化水素水によって環境応力割れが発生することがあるため、水道水が流れる箇所での使用には問題があったものと考えられた。
243	洗面化粧台	2年5カ月前に購入した洗面化粧台のコンセント周りのプラスチック部分が破損した。原因を調べてほしい。	苦情品破片は、何らかの化学物質によって溶剤亀裂が生じ、さらに繰り返しの応力が加わったため、破断したものと考えられた。なお、溶剤亀裂が生じた原因として、接触していた金属材料に由来するものや使用中の化粧品や洗剤などに由来するものが考えられるが、特定することはできなかった。
244	温水洗浄便座	約3年前に取り付けた温水洗浄便座の蓋のヒンジ部が破損した。破損した原因を調べてほしい。	苦情品は、何らかの原因でヒンジ部の根元部分に亀裂が生じ、使用時の繰り返し荷重によって徐々に亀裂が進行して、破損に至ったと考えられる。しかし、温水洗浄便座本体は現在入手できず、ヒンジ部の根元部分にどのように亀裂が生じたのか原因を特定できなかった。
245	水栓取り付け用の切り替えコック	水栓に、2方向に切り替えできるコックを取り付け、洗濯機と接続した側に切り替えておいたところ、他方の散水ホースと接続する側の取り付け部から漏水していた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の分水口から漏水した原因は、袋ナットを留める固定金具が緩んだことが考えられ、本体を固定したまま袋ナットを強く締め込む、または給水栓へ取り付けの際に回ってしまった本体を反対方向に回転させることで、固定金具が緩むことが確認された。

## 平成25年度 商品テスト分析・評価委員会 委員名簿

## ●委員13名

(平成26年3月31日現在)

氏名	所属及び役職
石川 正美	神奈川大学 法学部 教授
井部 明広	実践女子大学 生活科学部 食生活科学科 教授
小川 武史	青山学院大学 理工学部 機械創造工学科 教授
河野 康子	一般社団法人 全国消費者団体連絡会 事務局長
小山 晴樹	弁護士
谷口 哲夫	独立行政法人 交通安全環境研究所 エグゼクティブ・リサーチャー
長田 三紀	全国地域婦人団体連絡協議会 事務局次長
沼尻 禎二	元 家電製品PLセンター 次長
早川 哲夫	麻布大学 生命・環境科学部 教授
平野 裕之	慶應義塾大学 大学院 法務研究科 教授
本城 昇	埼玉大学 経済学部 名誉教授
柳川 淑子	公益社団法人 全国消費生活相談員協会 消費生活専門相談員
渡辺 実	弁護士

## ●専門委員17名

氏名	所属及び役職
相川 潔	くるま総合研究会 代表
天野 久徳	消防庁 消防大学校 消防研究センター 火災災害調査部長
梅垣 敬三	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 情報センター長
小田 泰由	独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 製品安全技術課課長
斉藤 弘和	独立行政法人 農林水産消費安全技術センター 消費安全情報部 交流技術課長
小澤 明	東海大学 医学部 専門診療学系 皮膚科学 教授
小野田 元裕	一般財団法人 日本車両検査協会 東京検査所 所長
加藤 登	一般財団法人 化学研究評価機構 高分子試験・評価センター 高分子・製品安全試験課長
木村 宇一郎	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全第一部 安全性情報課 課長
合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 部長
佐久間 義則	一般財団法人 日本食品分析センター 業務部 お客様サービス部 部長
田端 節子	東京都健康安全研究センター 食品化学部 副参事研究員
西田 佳史	独立行政法人 産業技術総合研究所 臨海副都心センター デジタルヒューマン工学研究センター 首席研究員
藤倉 秀美	一般財団法人 電気安全環境研究所 製品認証部 部長
三田 大輔	一般財団法人 日本文化用品安全試験所 製品安全部 製品試験課 専門技師長
堀口 逸子	長崎大学 広報戦略本部 准教授
山中 龍宏	緑園こどもクリニック 院長

## 平成25年度 商品テスト分析・評価委員会及び分科会実施状況一覧

	年月	委員会・分科会	品目等
1	平成25年4月	食品・化学品関連分科会	首から下げるタイプの除菌用品の安全性－皮膚への刺激性を中心に－(案)
2	平成25年5月	家電・住生活品関連分科会	刈払機(草刈機)の使い方に注意－指の切断や目に障害を負う事故も－(テストデザイン)
3	平成25年5月	家電・住生活品関連分科会	子ども用の花粉防御用眼鏡の安全性－衝突や転倒などによる目の周辺のけがを防ぐために－(テストデザイン)
4	平成25年5月	家電・住生活品関連分科会	防犯ブザーの電池切れや故障に注意！－いざという時のために家庭で点検を－(テストデザイン)
5	平成25年5月	車両・乗り物関連分科会	「軽自動車」による重大事故の原因究明
6	平成25年6月	家電・住生活品関連分科会	刈払機(草刈機)の使い方に注意－指の切断や目に障害を負う事故も－(案)
7	平成25年7月	本委員会	商品テスト事業概要説明 平成24年度 商品テスト分析・評価委員会分科会の実施状況および商品テストの実施状況 平成25年度 商品テスト等公表、予定案件
8	平成25年8月	家電・住生活品関連分科会	子ども用の花粉防御用眼鏡の安全性－衝突や転倒などによる目の周辺のけがを防ぐために－(案)
9	平成25年8月	家電・住生活品関連分科会	防犯ブザーの電池切れや故障に注意！－いざという時のために家庭で点検を－(案)
10	平成25年8月	家電・住生活品関連分科会	不良灯油による石油暖房機器の故障や異常に注意(テストデザイン)
11	平成25年8月	食品・化学品関連分科会	キャンドルブッシュを含む健康茶－下剤成分(センノシド)を含むため過剰摂取に注意－(テストデザイン)
12	平成25年9月	車両・乗り物関連分科会	自動車用緊急脱出ハンマーのガラス破碎性能(案)
13	平成25年10月	食品・化学品関連分科会	カラーコンタクトレンズの安全性(デザイン)
14	平成25年10月	車両・乗り物関連分科会	「折りたたみ自転車」による重大事故の原因究明
15	平成25年10月	家電・住生活品関連分科会	「健康器具」による原因究明
16	平成25年10月	家電・住生活品関連分科会	「電気足温器」による重大事故の原因究明
17	平成25年11月	家電・住生活品関連分科会	不良灯油による石油暖房機器の故障や異常に注意(案)
18	平成25年11月	家電・住生活品関連分科会	「電気足温器」(テストデザイン)
19	平成25年12月	食品・化学品関連分科会	キャンドルブッシュを含む健康茶－下剤成分(センノシド)を含むため過剰摂取に注意－(案)
20	平成26年1月	車両・乗り物関連分科会	販売時の表示とは異なり、公道走行できないペダル付き電動2輪車－電動アシスト自転車と外観が類似しているので要注意－(テストデザイン)
21	平成26年1月	食品・化学品関連分科会	「アイマスクに含まれるホルムアルデヒド」(テストデザイン)

	年月	委員会・分科会	品目等
22	平成 26 年 1 月	家電・住生活品関連分科会	スマートフォンの充電端子の焼損や本体の発熱に注意－ なかにはやけどを負った事例も－（案）
23	平成 26 年 3 月	車両・乗り物関連分科会	販売時の表示とは異なり、公道走行できないペダル付き電動 2 輪車－電動アシスト自転車と外観が類似しているので要 注意－（案）
24	平成 26 年 3 月	食品・化学品関連分科会	海外で購入した血糖を下げるという漢方薬を服用して重篤 な低血糖症（案）
25	平成 26 年 3 月	食品・化学品関連分科会	ステロイド不使用をうたった医療機関で処方された漢方ク リームにステロイドが含有（案）

## 外部試験機関へ委託したテスト

## ・定型的テスト

	テーマ	テスト項目名	規格・基準名
1	フッ素樹脂、シリコン樹脂等を含む衣類用スプレー製品の安全性	粒子径	防水スプレー安全確保マニュアル作成の手引き
2	首から下げるタイプの除菌用品の安全性	皮膚への刺激性(皮膚一次刺激性試験)	OECDガイドライン404
3		放散成分による繊維製品の退色	染色堅ろう度試験(JIS L 0884、0844他)
4	魚が死んだという水質改良剤	急性毒性試験	OECDテストガイドライン「TG203魚類急性毒性試験」
5	火が消えない簡易ガスライター	安全仕様に対する適合試験	消費生活用製品安全法に基づく「たばこライター安全仕様」(JIS S4801:2010)による試験から「火炎の消火」
6	湯たんぽのカバーのひもがほどけて、就寝中に低温やけど	ひもの材質調査	JIS L1030「繊維製品の混用率試験方法」
7	自主回収品であると疑われた化粧石けん	グリチルリチン酸ジカリウムの定量	薬事法
8	圧力鍋を持ち上げた際、補助取っ手が割れたため、湯がこぼれ両足にやけど	繰り返し強度テスト	「CPSA金属板製なべのSG基準試験(SG認定基準2項の2)」
9	電気ストーブの電磁波	電磁波の測定(雑音電力、電界強度)	電気用品安全法、EN55022 VCCIクラスB
10		電磁波の測定	IEC62233 ICNIRPガイドライン(1998)
11	首にかけて使用するタイプの除菌用品が子どもの大腿部に接触し赤くただれる	皮膚への刺激性(皮膚一次刺激性試験)	OECDガイドライン404
12	全自動洗濯機のすすぎ性能	洗濯後の衣類等のすすぎ液に含まれる界面活性剤の分析	JIS K0102「工業排水試験方法」
13	給水ホースの内側にカビ等微生物のかたまりが生じていたウォーターサーバー	水質試験	水道法
14		硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	水道法
15	半球型ゴム玩具を使用中に両手の中指を強打	運動エネルギーの測定	ST-2002 4.2.2.10.3 蓄積エネルギーをもつ発射体付玩具
16	タイヤ交換時に自動車が下がった自動車用油圧式ジャッキ	負荷作動テスト	JIS D8101「自動車用油圧式携行ジャッキ」
17		耐荷重テスト	JIS D8101「自動車用油圧式携行ジャッキ」
18	婦人靴のヒールが取れて踵に受傷	ヒールの取付強度	ISO 22650「ヒール取付強さ」
19	オリーブ油とは思えない味や香りがするという食用オリーブ油	酸度	基準油脂試験法
20	段差を越えようとしたときに自転車の前ホークが折損して、車輪が外れ倒れて打撲	上下振動に対する耐久性	JIS D9301「一般用自転車」
21		繰り返し荷重に対する耐久性	JIS D9301「一般用自転車」
22	ほとんどが縦方向に裂けてしまうごみ袋	引張強さ(縦方向)	JIS Z1702「包装用ポリエチレンフィルム」
23		引張強さ(横方向)	JIS Z1702「包装用ポリエチレンフィルム」
24		厚さ	JIS Z1702「包装用ポリエチレンフィルム」
25	臭いがきつく、頭痛がして息苦しくなったジョイント式マット	溶出試験	おもちゃの規格試験
26	アルミ製4脚杖を使用中に転倒し、打撲	安定性試験	ISO(片腕操作歩行補助具:3つ以上の脚を持つ歩行用ステッキ)
27		静的荷重試験	ISO(片腕操作歩行補助具:3つ以上の脚を持つ歩行用ステッキ)
28		疲労試験	ISO(片腕操作歩行補助具:3つ以上の脚を持つ歩行用ステッキ)
29	暖かさが感じられないアルミ4層構造のシート	保温性試験	JIS L1096 8.27.1保温性試験(恒温法)
30	水濡れした床で滑った運動靴	耐滑性試験	JIS T8101「安全靴」
31	枕から吹き出した羽根で顔面にすり傷ができた羽根枕	組成混合率	JIS L1903「羽毛試験方法」
32		フェザー分類	日本羽毛製品協同組合が定める方法
33	首用冷却ベルトの保冷剤が破れ、中身で皮膚炎を発症	防腐剤の定量	化粧品基準
34		保冷剤パッケージの強度	JIS S3105「携帯用保冷具」
35		ナトリウム含有量	栄養表示基準
36	容器の形が異なる清涼飲料水の成分	ビタミンC含有量	栄養表示基準
37		酸度	食品衛生法
38		炭酸ガス内圧力	炭酸飲料の日本農林規格(JAS)
39	防犯ブザーの電池切れや故障に注意!	音量の測定	SBA S1602「防犯ブザー」

40		背もたれの静的強度試験	JIS S1203「家具—いす及びスツール—強度と耐久性の試験方法」
41	背もたれの接合部が折れた椅子	背もたれの耐久性試験	JIS S1203「家具—いす及びスツール—強度と耐久性の試験方法」
42		背もたれの耐衝撃試験	JIS S1203「家具—いす及びスツール—強度と耐久性の試験方法」
43	ホコリなどを吸い取っているように感じられない空気清浄機	集じん性能	日本電機工業会 JEM1467「家庭用空気清浄機」
44		ウイルス除去性能	日本電機工業会 空気清浄機の浮遊ウイルスに対する除去性能評価試験方法
45	座ったら衣服に色移りした座椅子	染色堅ろう度	JIS L0848「染色堅ろう度試験(汗)」
46		染色堅ろう度	JIS L0849「染色堅ろう度試験(摩擦)」
47	臭いがし、肌にも刺激を感じたのれん	ホルムアルデヒド含有量	有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律
48	熱湯を入れて飲もうとしたところ、プラスチックが溶けたような味がしたスープ用のポット	溶出試験	食品衛生法 容器包装
49	ミョウバンの使用が疑われた冷凍の生食用ウニ	アルミニウムの定量	ICP発光分析法
50		座面の静的強度	JIS S1203「家具—いす及びスツール—強度と耐久性の試験方法」
51	脚が破損した椅子	座面の耐久性	JIS S1203「家具—いす及びスツール—強度と耐久性の試験方法」
52		座面の耐衝撃性	JIS S1203「家具—いす及びスツール—強度と耐久性の試験方法」
53		曲げ破壊荷重試験	JIS A5423「曲げ破壊荷重試験」
54	住宅の屋根材(住宅屋根用化粧シート)の破損	吸水率試験	JIS A5423「吸水率試験」
55		耐衝撃試験	JIS A5423「耐衝撃試験」
56	顔や耳の裏にかぶれができたアイマスク	ホルムアルデヒド濃度	有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律
57	生地の手触りがごわごわして組成表示が疑われた敷きパッド	混用率の調査	JIS L1030「繊維製品の混用率試験方法」
58	折りたたみ自転車のフレームが折れ転倒し鼻骨、歯等を折る負傷	苦情同型品を用いたフレームの強度試験	JIS D9401「自転車—フレーム」
59		実証試験_水質検査9項目(飲料水)	水道法
60	長期保存ができるというポリタンク容器の衛生性	実証試験_従属栄養細菌	水道法
61		安全性試験	食品衛生法
62	自動車用緊急脱出ハンマーのガラス破砕性能	ヘッド先端部の硬さ	HV(工業材料の押し込み硬さの尺度)
63	不良灯油による石油暖房機器の故障や異常に注意	保管容器による灯油の変質	JIS K2580「灯油」
64	ヘアドライヤーのコード接続部から火花が出て手首をやけど	電源コードの折り曲げ試験	電気用品安全法
65		染料の種類	JIS L1065「線植物の染料部属判定方法」
66	運動靴による皮膚炎	ホルムアルデヒド含有量	有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律
67	学習机から刺激臭がし、壁紙が変色	VOCの測定	JIS A1911「建築材料などからのホルムアルデヒド放散測定方法—大型チャンバー法」
68	組み立てた椅子の背もたれが外れて転倒し、腰を打撲	苦情同型品による背もたれの耐久性試験	JIS S1032「オフィス用いす」
69		組成の調査	はちみつ類の表示に関する公正競争規約
70	「純粋」という表示が疑われた安価な蜂蜜	異性化糖添加の有無	はちみつ中の異性化液糖等混入物の横出試験法(薄層クロマトグラフ法) AOAC Official Method 998.12 C-4 Plant Sugars in Honey
71	エアコンのリモコンに入っていたアルカリ乾電池(単3形)から液漏れ	放電試験	JIS C8515「一次電池個別製品仕様」
72	シルク100%の組成表示に問題があった掛け布団カバー、シーツ、枕カバーのセット	混用率試験	JIS L1030「繊維製品の混用率試験方法」
73	洗濯で丈が伸びた紳士下着	耐洗濯性試験	JIS L1096「繊維製品の織物及び編物の生地試験方法」 JIS L0217「繊維製品の取扱いに関する表示記号及び表示方法」
74	羽毛が吹き出した婦人用ダウンジャケット	羽毛の吹出し試験	ダウンウェア吹出し試験
75	キャンドルブッシュを含む健康茶—下剤成分(センノシド)を含むため過剰摂取に注意—	センノシドの定量	液体クロマトグラフ—質量分析法
76	かかとの内側の突起で靴ずれのような症状を起こした運動靴	耐滑性試験	JIS T8101「安全靴」
77	約1カ月半の使用で裂けてきた自動車用ボディーカバー	促進耐候性試験	JIS D0205「自動車部品の耐候性試験方法」
78	異常に泡が出て、衣類に粉が付着するという洗濯乾燥機	相談者より受領した試料に含まれる界面活性剤の分析	JIS K0102「工業排水試験方法」
79	飼い猫の体調不良が疑われたペットフード	成分等の分析	愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律(ペットフード安全法)、(公財)日本健康・栄養食品協会「イコサペンタエン酸(EPA)含有精製魚油食品」「ドコサヘキサエン酸(DHA)含有精製魚油食品」の安全・衛生基準
80	裏地が数回の着用で裂けてしまった婦人パンツ	滑脱抵抗力試験	JIS L1096「織物及び編物の生地試験方法」
81		縫い目の強さ試験	JIS L1093「繊維製品の縫目強さ試験方法」



82	タイトの黒色が白いカーペット等を汚染	染色堅ろう度試験	JIS L0848「汗に対する染色堅ろう度試験方法」 JIS L0849「摩擦に対する染色堅ろう度試験方法」(摩擦試験機Ⅱ形)
83		染色堅ろう度試験	JIS L0846「水に対する染色堅ろう度試験方法」
84	ベルトに触れた指をなめたら苦味がした玩具のベルト	食品衛生法の溶出試験	食品衛生法「おもちゃ又はその原材料」
85	新しい靴下で湿疹	ホルムアルデヒド含有量	有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律施行規則
86		アレルギー誘発性分散染料の確認	エコテックス規格100
87	無洗米の濁度	濁度	米穀公正取引推進協議会「米穀の品質表示ガイドライン」
88	カセットコンロのカセットボンベ装着箇所付近から発火	ガスが漏れた位置の確認	液化石油ガス法試験基準
89	取っ手が根元から折れたやかん	取っ手の繰り返し強度テスト	SG基準 CP5A0123「クッキングヒータ用調理器具」
90		取っ手の耐荷重テスト	SG基準 CP5A0123「クッキングヒータ用調理器具」
91	玩具の電池ケースの蓋の開けやすさ	電池ケースの蓋の開きやすさ	ST-2012 4.26 電池
92	電動車いすが歩道の段差にぶつかり、体が投げ出されて負傷	走行耐久性試験	JIS T9203「電動車いす」
93		キャストの耐衝撃性試験	JIS T9203「電動車いす」
94	前のめりに倒れるいすの安定性	前方安定性試験	JIS S1204「家具—いす—直立形のいす及びスツールの安定性の試験方法」
95	かゆみの症状が現れた綿の紳士下着の組成	混用率試験	JIS L1030「繊維製品の混用率試験方法」

・専門的テスト

	テーマ	テスト項目名
1		被覆の組成調査(FT-IR)
2	携帯電話用充電器の電源コードの被覆の剥がれ	被覆の組成調査(XRF)
3		被覆の組成調査(GPC)
4	再度コイルばねが折れた電動アシスト自転車	破損箇所の破断面調査
5	自動車から突然異音が生じて発煙し、オイルが吹き出し、エンジンが故障	エンジン部品の破断面調査
6	給水ホースの内側にカビ等微生物のかたまりが生じていたウォーターサーバー	カビ数
7		カビフローラ(菌の種類)
8	牛革表示に問題があったかばん	皮革の判別
9	組み立て椅子が壊れ、肋骨を損傷	破損箇所の破断面調査
10	オリーブ油とは思えない味や香りがするという食用オリーブ油	脂肪酸組成の分析
11	段差を越えようとしたときに自転車の前ホークが折損して、車輪が外れ倒れて打撲	前ホークの破断面調査
12	グルコサミンを高濃度で配合しているという健康食品のグルコサミン量に対する疑義	グルコサミンの定量
13	子ども用の花粉防御用眼鏡の安全性－衝突や転倒などによる目の周辺のけがを防ぐために－(報道発表)	眼鏡端部の人体へ衝撃を受けたときの安全性
14	水道水から出る黒い異物	分離培養試験
15	転んで眼鏡の縁でまぶたの上を切った花粉防御用眼鏡	眼鏡端部の人体へ衝撃を受けたときの安全性
16	ステロイドが含有されていた漢方クリーム	ステロイド(9種)の定量
17	背もたれの接合部が折れた椅子	木材(節)の外観観察、調査
18		樹種の鑑定
19	折りたたみ自転車のフレームが折れ転倒し鼻骨、歯等を折る負傷	破損箇所の破断面調査
20	長期保存ができるというポリタンク容器の衛生性	実証試験_カビの検出(培養)
21		実証試験_藻類の有無観察
22	自動車用緊急脱出ハンマーのガラス破砕性能(報道発表)	基本性能
23		平常温度におけるウインドーガラス破砕性能テスト 特定温度でのハンマー強度、機能、耐久性テスト
24	刈払機(草刈機)のハンドルの折損	破損箇所の破断面調査
25	ステロイドが含有されていた漢方クリーム	プロピオン酸クロバタゾールの定量
26	折りたたみ電動アシスト自転車のフレームが破損し負傷	破損箇所の破断面調査
27	マットに虫がわいたベッド	虫の鑑定
28	血糖値を下げるグリベンクラミドが検出された漢方薬	グリベンクラミドの定量分析
29	自転車のサドルが外れ転倒し骨折	破損箇所の破断面調査
30	携帯電話用充電器の電源コードの被覆が膨張し、亀裂発生	ガスクロマトグラフィー 質量分析法を用いた組成の分析
31		ガスクロマトグラフィー 誘導体化熱分解法を用いた組成の分析
32	牛革表示が疑われたかばん	皮革の判別
33	洗濯後のしみの原因と疑われた洗濯用合成洗剤	しみの化学的性質
34		移染調査
35	紛らわしい表示のスマートフォンのケース	皮革の判別
36	ドラム式洗濯乾燥機での焦げが疑われた子ども下着のしみ	しみの挙動
37		しみの成分分析
38	ステロイド不使用をうたった医療機関で処方された漢方クリームにステロイドが含有(報道発表)	プロピオン酸クロバタゾールの定量分析
39	海外で購入した血糖を下げるという漢方薬を服用して重篤な低血糖症(報道発表)	グリベンクラミドの定量分析
40	ミネラル還元水素水生成器で調整した水の溶存水素濃度	溶存水素濃度

## 消費生活センターの商品テスト事例

件数	件名	内容・テスト項目等	実施センター
1	昆布しょうゆの品質	食塩分、遊離アミノ酸	北海道立消費生活センター
2	塩麴の効果	重量、糖組成、遊離グルタミン酸、塩分	北海道立消費生活センター
3	輸入果物の残留農薬	残留農薬	北海道立消費生活センター
4	シリコン調理器具	重金属、ホルムアルデヒド、電子レンジ耐久性、耐熱性、色・ニオイの付着	北海道立消費生活センター
5	携帯用ステンレスボトル	保温性能、保冷性能、安全性、落下試験、使用性、表示	北海道立消費生活センター
6	お掃除ロボット	掃除性能、持続時間、消費電力、騒音、安全性、表示	北海道立消費生活センター
7	重曹を用いた洗濯の洗浄効果	人工汚染布を用いた洗浄性能、モデル汚れを用いた洗浄性能	北海道立消費生活センター
8	灯油ポンプ	灯油ポンプの誤使用や不注意が原因の事故を防ぐために、様々な灯油ポンプについて調査し、その使い方や注意点を整理	岩手県立県民生活センター
9	家庭におけるカビの調査	一般家庭においてどのようなカビが生息しているかの実態を調査し、家庭におけるカビの防除対策を消費者に情報提供	かながわ中央消費生活センター
10	フライパンの磨耗テスト	フッ素樹脂加工フライパンについて、磨耗テストを実施し、フライパンの表面がどのような影響を受けるかを調査	かながわ中央消費生活センター
11	服の耐光性、耐洗濯性等テスト	繊維製品の組成の違いにより、シミがしやすいといった品質の違いがあるかを比較するために、染色堅ろう度試験や、耐洗濯性試験等を実施し、相談業務に役立てる	かながわ中央消費生活センター
12	傘の商品テスト	傘の耐久性及び強度を調査し、より安全でよりよい傘の使用法等の情報を、消費者へ提供	かながわ中央消費生活センター
13 14 15	シリコーン製調理器具	電子レンジやオーブンで手軽に調理できるシリコーン製調理器具が広く市販されているが、消費者からは「有害な物質が溶け出していないか」等の不安の声が寄せられている。そこで、北陸3県のセンター共同で、安全性や性能等(①表示等②材質③溶出④耐熱性⑤使用性)をテストを実施し、購入時や使用時の留意点について情報提供	※富山県消費生活センター ※石川県消費生活支援センター ※福井県消費生活センター

16	卓上用魔法瓶	当該魔法瓶の安全性や性能等 項目は①表示等②構造及び外観等③保温効力・保冷効力 ④転倒試験⑤転倒流水⑥使用性等	石川県消費生活支援センター
17	油揚げ	福井県は、世帯当たりの油揚げ購入金額が日本一であり、 店頭には数多い銘柄が並んでいる。そこで、家庭でどの ように食べられているのか等についてアンケートを実施 し、表示及び価格について調査を実施(消費者団体との共 同テスト)	福井県消費生活センター
18	食品用ラップフィ ルム	一見すると同じように見える食品用ラップフィルムであ るが、電子レンジ対応の新素材や環境に優しいとうたっ ている素材等様々な商品が出回っている。そこで、ラッ プフィルムの品質や使用性についてテストを実施(消費 者団体との共同テスト)	福井県消費生活センター
19	カプサイシン	香辛料や鍋の素等の食品とカプサイシン含有サプリメント を対象に、カプサイシン含有量を調査	静岡県環境衛生科学研究所
20	調理食品中のアク リルアミド	即席麺や冷凍食品等、手軽に利用できる調理食品を対象 として、アクリルアミド含有量を調査	静岡県環境衛生科学研究所
21	炊飯器	特徴や価格の異なる複数の炊飯器でご飯を炊き、糖分や 物性試験、食味テストを実施することで、炊飯米の違い を調査	静岡県環境衛生科学研究所
22	カールドライヤー	「カールドライヤーを使用したところ、ブラシ部分背面が 過熱した。」との相談を受け、市販品を複数購入し、通電 時にブラシ部分背面の表面温度及び発熱状況を確認	兵庫県立健康生活科学研究所 生活科学総合センター
23	ミネラルウォーター 類	容器入りミネラルウォーター類と水道水について、官能 検査と成分(PH、Ca、Mg、残留塩素)検査を実施	熊本県環境生活部県民生活局消費生 活課
24	スプレー缶製品の 使用上の安全につ いて	可燃性ガスを使用しているスプレー缶について、凍傷の 危険性、引火、残量について調査を実施。凍傷、引火に ついては表示通り使用することで安全性が確保できるこ と、残量については商品ごとに差が大きいことを確認	札幌市消費者センター
25	ケーキ用飾りのカ ドミウム・鉛の測定	ケーキ用飾り(オーナメント)について、重金属溶出の有 無の調査を行う。平成24年度中に5検体、平成25年度 中に3検体の調査を実施し、結果を総括する。なお、平 成24年度中に実施した5検体については、いずれも不検 出	札幌市消費者センター
26	夏用手袋(アームカ バー)	「紫外線遮蔽率」や「UVカット率」等の表示があるもの について、製品の色、素材により違いがあるのか、洗濯後 は効果が落ちないのか等のテストを実施。6銘柄の色違 いを10点、簡易紫外線測定器で測定	横浜市消費生活総合センター

27	携帯トイレ	平成 23 年度のテスト(非常用ラジオ)と防災に関する調査から災害を経験した人達がトイレに困っていたことを知り、市販されている携帯トイレの使用テストとアンケート調査を実施 項目は①使用時の大きさ②排尿のしやすさ③受け口のフィット感④排尿後の処理⑤臭い⑥凝固剤の効果⑦携帯のしやすさ(使用前、使用后)⑧価格⑨取扱説明書	新潟市消費生活センター
28	道内産と道外産の ホウレン草の栄養 成分比較	産地によりホウレン草の栄養成分について違いがあるか 分析比較 硝酸イオン、ミネラル(Na、K、Fe、Mg、Cu、Zn、Ca)	帯広市消費生活アドバイスセンター
29	ホウレン草の栄養 成分分析	ホウレン草のミネラルと硝酸イオン量について分析 硝酸イオン、ミネラル(Na、K、Fe、Mg、Cu、Zn、Ca)	帯広市消費生活アドバイスセンター
30	ガムのキシリトール含有量	キシリトール量が表示通りか調査。テスト結果から表示と大きく異なるガムはなかった。キシリトール不検出：10 検体の内 1 検体	函館市消費生活センター
31	塩の表示及び食味 テスト	JAS 法に基づく表示義務等を果たしているのか、表示と食味のテストを実施し、消費生活展において発表	小山市消費生活センター
32	こんにゃくの試買 (官能)テスト	市販されているこんにゃくと、材料からさまざまな配合で作ったこんにゃくの見た目や食感・味等を比較し、その結果をまとめ消費生活展において発表	小山市消費生活センター
33	野菜を活用した健康的な食生活について	産地表示の調査や官能テストを実施し、栄養学的立場から野菜を活用した健康的な食生活を科学的に考察し、消費生活展において発表	小山市消費生活センター
34	食品正味量	消費生活物資を購入して、計量の正確さを調査し、消費者の計量に対する関心を高めるとともに、一般商店の計量の実態を把握	桑名市消費生活相談室
35	試買量目テスト	買目調査(魚介類)	上砂川町消費生活センター
36	試買量目テスト	買目調査(肉類)	上砂川町消費生活センター
37	試買量目テスト	買目調査(野菜・海草)	上砂川町消費生活センター

※：共同テスト

○業務別決算額（決算報告書）（単位：円）

区 分	平成24年度				平成25年度				対前年度増△減額			
	支出決算額	収入決算額	収入		支出決算額	収入決算額	収入		支出決算額	収入決算額		
			図書雑誌出版 収入	研修宿泊 収入			事業外 収入	図書雑誌出版 収入			研修宿泊 収入	事業外 収入
業務	2,557,163,360	98,264,307	75,747,287	22,517,020	0	1,455,828,236	84,825,785	65,048,255	19,777,530	0	△ 1,101,335,124	△ 13,438,522
広報業務	108,854,452	74,031,407	74,031,407	0	0	101,060,675	64,009,725	64,009,725	0	0	△ 7,793,777	△ 10,021,682
情報・分析業務	1,113,465,614	0	0	0	0	852,762,679	0	0	0	0	△ 260,702,935	0
相談業務	232,501,830	733,320	733,320	0	0	220,180,007	400,800	400,800	0	0	△ 12,321,823	△ 332,520
商品・サービス業務	654,375,872	0	0	0	0	117,167,089	0	0	0	0	△ 537,208,783	0
研修業務	242,637,681	5,923,940	5,923,940	0	0	67,772,064	6,427,130	6,427,130	0	0	△ 174,865,617	503,190
企画調整業務	136,242,534	17,575,640	982,560	16,593,080	0	26,037,983	13,988,130	637,730	13,350,400	0	△ 110,204,551	△ 3,587,510
A D R経費	69,085,377	0	0	0	0	70,847,739	0	0	0	0	1,762,362	0
一般管理費	193,273,274	13,728,031	0	0	13,728,031	154,955,897	4,122,981	0	0	4,122,981	△ 38,317,377	△ 9,605,050
人件費	1,064,631,134	0	0	0	0	1,063,957,871	0	0	0	0	△ 673,263	0
役員員給与	878,587,610	-	-	-	-	862,389,049	-	-	-	-	△ 16,198,561	-
法定福利費	121,003,824	-	-	-	-	118,052,922	-	-	-	-	△ 2,950,902	-
退職手当	65,039,700	-	-	-	-	83,515,900	-	-	-	-	18,476,200	-
	3,815,067,768	111,992,338	75,747,287	22,517,020	13,728,031	2,674,742,004	88,948,766	65,048,255	19,777,530	4,122,981	△ 1,140,325,764	△ 23,043,572

(注) 1. 決算額には前年度契約済繰越額を含んでいる。

2. 平成24年度決算額は、平成25年度決算額との比較対照のため組替え掲記している。

○対前年度決算額に対する主な増減内訳

区分	増減額 (単位：円)	主な増減内訳
業務経費	△ 1,101,335,124	
広報業務	△ 7,793,777	非常勤職員手当 (1,091千円)、「国民生活」執筆謝金 (1,070千円)、リーフレット印刷費 (△4,160千円)、くらしの豆知識印刷製本費 (△1,725千円)、リーフレット送料 (△1,828千円)、くらしの豆知識送料 (△1,314千円)、販売手数料 (△2,156千円)
情報・分析業務	△ 260,702,935	PI0-NET最適化計画 (66,360千円)、PC-LANサーバ更新 (△44,725千円)、PI0-NET端末追加配備 (△29,242千円)、医療機関ネットワーク構築 (△34,012千円)、PI0-NET端末追加配備賃借料 (△10,670千円)、事故情報D Bアプリケーション変更作業 (△7,329千円)、早期警戒ソフトウェアライセンス料 (△65,850千円)、PI0-NETシステム分析 (△6,080千円)、派遣職員 (△5,626千円)、PI0-NET操作マニュアル等印刷製本 (△4,368千円)、PI0-NET等ルータ賃借料 (△7,662千円)
相談業務	△ 12,321,823	非常勤職員手当 (1,379千円)、相談窓口休日対応業務 (△11,789千円)、派遣職員 (△897千円)
商品テスト業務	△ 537,208,783	商品テスト機器購入費 (△485,310千円)、放射線物質検査機器地方配備関係経費 (△21,977千円)、医療機関ネットワーク委託費 (△27,089千円)、派遣職員 (△8,995千円)
研修業務	△ 174,865,617	消費生活相談専門家の巡回事業 (△155,513千円)、派遣職員 (△11,163千円)、非常勤職員手当 (△5,223千円)、事務補助員手当 (△3,217千円)
企画調整業務	△ 110,204,551	震災専門家の派遣事業 (△100,832千円)、非常勤職員手当 (△3,496千円)、事務補助員手当 (△1,225千円)
A D R経費	1,762,362	委嘱弁護士謝金 (9,061千円)、旅費 (2,773千円)、非常勤職員手当 (△11,161千円)
一般管理費	△ 38,317,377	借上宿舎料 (△17,021千円)、保守修繕費 (△11,257千円)、総合管理業務 (△2,872千円)、施設用消耗品 (△2,230千円)、振込手数料 (△1,861千円)、水道光熱費 (△1,383千円)

(単位:円)

【貸借対照表】 資産の部	平成24年度①	平成25年度②	増減額(②-①)	備考(単位:千円)
<b>I 流動資産</b>				
現金及び預金	2,517,767,029	1,913,875,515	△ 603,891,514	25年度補正第1号(1,499,034)、中期計画期間終了に伴う国庫納付(△1,765,591)、不要資産国庫納付(△254,944)
売掛金	34,582,715	28,498,972	△ 6,083,743	くらしの豆知識(△4,715)、その他出版物(△1,390)、研修受講料(21)
たな卸資産	13,949,876	3,804,690	△ 10,145,186	くらしの豆知識(△10,193)
前払費用	1,429,000	0	△ 1,429,000	借上宿舍料(△1,429)
未収収益	152,342	0	△ 152,342	24年度商工債1口、定期預金2口
その他の未収入金	1,304,966	382,995	△ 921,971	労働保険料精算分(△946)
<b>II 固定資産</b>				
1 有形固定資産	9,142,656,950	8,667,789,205	△ 474,867,745	
建物	2,170,428,341	2,170,428,341	0	
減価償却累計額	630,432,396	712,498,302	82,065,906	
構築物	876,148,641	876,148,641	0	
減価償却累計額	621,240,563	653,979,244	32,738,681	
機械装置	83,767,146	83,767,146	0	
減価償却累計額	82,378,853	83,309,394	930,541	
車両運搬具	2,162,755	2,162,755	0	
減価償却累計額	2,076,244	2,097,871	21,627	
工具器具備品	1,486,635,470	1,470,899,668	△ 15,735,802	新規取得(1,991)、除却(△17,727)
減価償却累計額	794,143,893	985,245,071	191,101,178	
リース資産(工具器具備品)	722,641,343	713,510,318	△ 9,131,025	リース期間満了による除却(△9,131)
減価償却累計額	412,812,797	555,955,782	143,142,985	
立木竹	3,958,000	3,958,000	0	
土地	6,340,000,000	6,340,000,000	0	
2 無形固定資産	252,000	252,000	0	
電話加入権	252,000	252,000	0	
3 投資その他の資産	10,000,000	0	△ 10,000,000	
投資有価証券	10,000,000	0	△ 10,000,000	商工債1口 不要資産の国庫納付による減
固定資産合計	9,152,908,950	8,668,041,205	△ 484,867,745	
資産合計	11,670,675,979	10,581,916,720	△ 1,088,759,259	



(単位:円)

【貸借対照表】 負債の部	平成24年度①	平成25年度②	増減額(②-①)	備考(単位:千円)
I 流動負債				
運営費交付金債務	640,892,026	2,057,186,639	1,416,294,613	25年度当初予算額債務計上(2,687,468)、25年度補正予算(第1号)債務計上(1,499,034)、収益化(△2,593,947)、資産見返負債振替(△1,991)
未払金	438,689,459	281,733,050	△156,956,409	業務経費関係(△153,650)、一般管理費関係(△7,715)、退職金(4,409)
未払費用	24,848,917	18,008,089	△6,840,828	給与関係(超勤、社会保険料事業主負担分)(△5,761)、光熱水費(△846)
未払消費税等	393,800	1,129,700	735,900	
前受金	728,700	300,000	△428,700	宿舍使用料(△429)
預り金	21,895,373	11,466,086	△10,429,287	源泉所得税(△3,951)、地方税(△645)、社会保険料(△5,828)
短期リース債務	154,335,777	153,986,138	△349,639	
II 固定負債				
資産見返負債	949,256,662	581,216,988	△368,039,674	
資産見返運営費交付金	785,552,830	571,618,431	△213,934,399	
長期リース債務	785,552,830	571,618,431	△213,934,399	取得資産運営費交付金債務振替(1,991)、資産見返交付金戻入(△215,925)
負債合計	163,703,832	9,598,557	△154,105,275	既存リース資産短期振替(△154,105)
負債合計	1,590,148,688	2,638,403,627	1,048,254,939	
純資産の部				
I 資本金				
政府出資金	9,166,546,650	8,901,601,997	△264,944,653	
政府出資金	9,166,546,650	8,901,601,997	△264,944,653	
II 資本剰余金				
資本剰余金	△851,610,472	△960,269,808	△108,659,336	
資本剰余金	603,860,756	601,038,756	△2,822,000	
損益外減価償却累計額(△)	△1,454,085,228	△1,559,922,564	△105,837,336	
損益外減損損失累計額(△)	△1,386,000	△1,386,000	0	電話加入権分
III 利益剰余金				
利益剰余金	1,765,591,113	2,180,904	△1,763,410,209	前中期目標期間積立金の国庫納付(△1,765,591)、リース会計による損益差額(2,181)
積立金	6,753,321	0	△6,753,321	
当期未処分利益	1,758,837,792	2,180,904	△1,756,656,888	
(うち当期総利益)	1,758,837,792	2,180,904	△1,756,656,888	
純資産合計	10,080,527,291	7,943,513,093	△2,137,014,198	
負債純資産合計	11,670,675,979	10,581,916,720	△1,088,759,259	

(単位:円)

	平成24年度①	平成25年度②	増減額(②-①)	備考(単位:千円)
<b>【損益計算書】</b>				
経常費用				
業務経費	3,098,924,439	2,479,405,132	△ 619,519,307	
給与手当	672,114,941	674,650,945	2,536,004	
退職給付費用	65,039,700	47,958,300	△ 17,081,400	
法定福利費	115,213,229	114,679,237	△ 533,992	
備品費	838,892	1,863,729	1,024,837	
雑給	268,899,865	248,644,033	△ 20,255,832	非常勤職員手当(△16,158)、事務補助員手当(△3,280)
福利厚生費	3,077,240	2,559,746	△ 517,494	
旅費	70,266,515	24,991,702	△ 45,274,813	
会議費	403,282	383,685	△ 19,597	
賃借料	158,955,022	85,361,754	△ 73,593,268	PIO-NET端末4次配備分(3,751)、PIO-ALERTソフトウェア(△65,850)、PIO-NET等通信機器(△7,662)、個人情報DB(△1,829)
消耗品費	48,348,846	50,317,995	1,969,149	各地ウェア-配布PIO-NET端末用キーカード(4,878)、精密質量解析用ソフトウェア(△2,100)
通信運搬費	178,461,640	159,795,272	△ 18,666,368	出版物送料(△3,142)、放射能測定器地方配備関係(△14,399)、消費生活相談専門 家巡回・震災派遣事業関係(△2,109)
印刷製本費	43,151,474	25,830,202	△ 17,321,272	「くらしの豆知識」等たな卸資産振替減(△10,150)、PIO-NETサーバー(△4,368)、7/月 取引レポート(△4,160)
水道光熱費	23,912,570	21,047,928	△ 2,864,642	
交通費	2,335,029	2,170,240	△ 164,789	
外部委託費	592,258,368	328,929,146	△ 263,329,222	PIO-NET最適化計画(66,360)、派遣職員(△26,988)、PIO-ALERTソフトウェア(△ 131,700)、PC-LANサーバ更新(△44,725)、PIO-NET端末導入(△29,242)、医療機関ネッ トワーク構築(△34,012)、事故情報DB777'アップデート変更(△7,329)、PIO-NETシステム分析(△ 6,080)、PC-LAN機器設定等(△5,474)、CIO補佐官業務(△2,596)、相談窓口休日対 応(△11,789)、医療機関ネットワーク委託費(△27,089)
販売手数料	5,212,205	2,855,844	△ 2,356,361	「月刊国民生活」(△1,564)、「くらしの豆知識」(△367)
租税公課	104,500	55,200	△ 49,300	
保守・修繕費	267,205,257	283,632,910	16,427,653	PC-LAN運用支援(17,153)
支払手数料	6,712	3,267	△ 3,445	
支払保険料	13,517,850	342,810	△ 13,175,040	消費生活相談専門家巡回・震災派遣事業関係傷害保険(△13,102)
支払報酬	221,787,098	35,116,670	△ 186,670,428	消費生活相談専門家巡回・震災派遣事業関係(△194,596)、ADR委嘱弁護士謝金 (9,061)
図書費	11,849,371	8,639,431	△ 3,209,940	消費生活相談専門家巡回事業関係(△4,275)、「消費者六法」購入(790)
その他	4,041,952	3,804,001	△ 237,951	
減価償却費	331,922,881	355,771,085	23,848,204	リース資産分(3,382)、リース以外分(20,467)

(単位:円)

【損益計算書】	平成24年度①	平成25年度②	増減額(②-①)	備考(単位:千円)
一般管理費	438,244,931	412,540,427	△ 25,704,504	
役員報酬	61,371,148	59,203,136	△ 2,168,012	
給与手当	145,101,521	128,534,968	△ 16,566,553	
退職給付費用	0	35,557,600	△ 35,557,600	
法定福利費	27,449,989	24,437,207	△ 3,012,782	役員員分(△3,045)
備品費	80,503	52,815	△ 27,688	
交際費	80,647	126,290	△ 45,643	
雑給	3,150,986	3,506,822	△ 355,836	
福利厚生費	3,358,187	3,025,303	△ 332,884	
旅費	904,670	2,049,073	△ 1,144,403	海外旅費(1,135)
地代家賃	45,331,158	28,088,849	△ 17,242,309	借上宿舍料(△17,021)、土地使用料(△221)
会議費	14,966	14,060	△ 906	
賃借料	308,835	383,886	△ 75,051	
消耗品費	6,304,942	4,841,732	△ 1,463,210	施設関係(△2,230)、事務用(766)
通信運搬費	2,615,942	2,435,649	△ 180,293	
印刷製本費	457,613	298,332	△ 159,281	
水道光熱費	17,279,247	15,895,926	△ 1,383,321	ガス代(相模原△619)、電気代(相模原△350)
交通費	2,559,003	1,770,570	△ 788,433	タクシー代(△341)
外部委託費	57,229,549	51,704,133	△ 5,525,416	総合管理業務(相模原事務所△2,508、東京事務所△364)、樹木剪定(△1,031)
租税公課	20,953,000	21,028,400	△ 75,400	
保守・修繕費	22,298,059	11,041,518	△ 11,256,541	商品ネット稼設備工事(△4,368)
支払手数料	3,156,625	1,295,195	△ 1,861,430	振込手数料
支払保険料	209,240	538,800	△ 329,560	火災保険料(300)
支払報酬	2,402,750	2,389,521	△ 13,229	
図書費	918,843	853,228	△ 65,615	
その他	1,599,430	1,531,223	△ 68,207	
減価償却費	13,108,078	11,936,191	△ 1,171,887	リース資産分(△150)、リース以外分(△1,022)
財務費用				
支払利息	6,903,771	4,356,554	△ 2,547,217	
経常費用合計	3,544,073,141	2,896,302,113	△ 647,771,028	
経常収益				
運営費交付金収益	4,995,417,017	2,593,947,259	△ 2,401,469,758	
業務収益	98,264,307	84,825,785	△ 13,438,522	
図書雑誌出版収入	75,747,287	65,048,255	△ 10,699,032	「くらしの豆知識」(△4,923)、「月刊国民生活」(△4,213)、「紙上法学講座」等(△1,562)
研修・宿泊収入	22,517,020	19,777,530	△ 2,739,490	研修受講料収入(503)、消費生活専門相談員資格試験受験料等(△3,242)
資産見返負債戻入				
資産見返運営費交付金戻入	197,116,742	215,925,564	18,808,822	

(単位:円)

【損益計算書】	平成24年度①	平成25年度②	増減額 (②-①)	備 考 (単位:千円)
財務収益	2,792,552	320,741	△ 2,471,811	
受取利息	2,052,844	242,138	△ 1,810,706	
有価証券利息	739,708	78,603	△ 661,105	
雑益	10,295,140	3,802,240	△ 6,492,900	宿舍貸付料 (△5,092)、建物使用料 (△853)
経常収益合計	5,303,885,758	2,898,821,589	△ 2,405,064,169	
経常利益又は経常損失 (△)	1,759,812,617	2,519,476	△ 1,757,293,141	独法会計基準第81第3項に基づく収益化 (△1,759,247)、リース会計による損益差額 (2,590)、固定資産除却に伴う会計処理 (△636)
臨時損失	974,825	360,272	△ 614,553	
固定資産除却損	974,825	338,572	△ 636,253	パソコン等除却
国庫納付金	0	21,700	21,700	投資有価証券売却益の国庫納付
臨時利益				
投資有価証券売却益	0	21,700	21,700	独立行政法人通則法第46条の2第2項に基づく譲渡による国庫納付に伴う投資有価証券売却益
当期純利益又は当期純損失 (△)	1,758,837,792	2,180,904	△ 1,756,656,888	